

尋常小學地理書卷一  
文部省

3759  
M014  
資料室

教  
31  
200

42735

教科書文庫

4
290
31-1934
<del>20000</del> 18256

20003  
02726



© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



教科書文庫

4

290

31-1934

2000302726

資料室

375.7

M014



尋常小學地理書卷一

文部省

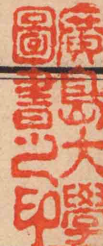
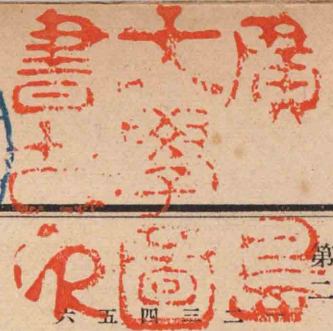
広島大学図書

2000302726



目録

第一 日本	一	二地勢・氣候	五	第七 四國地方	百十四
第二 關東地方	八	三産業	六十二	一區域	百十五
一區域	八	四交通	七十	二地勢	百十五
二地勢	九	五都邑	七十四	三産業	百十六
三産業	十五	第五 近畿地方	七十七	四交通	百二十
四交通	十九	一區域	七十七	五都邑	百二十一
五都邑	二十四	二地勢	七十八	第八 九州地方	百二十二
六伊豆七島・小笠原諸島	二十九	三産業	八十五	一區域	百二十三
第三 奥羽地方	三十	四交通	九十二	二地勢	百二十三
一區域	三十	五都邑	九十五	三産業	百三十一
二地勢	三十一	第六 中國地方	百三	四交通	百三十七
三産業	三十八	一區域	百三	五都邑	百四十
四交通	四十四	二地勢	百三	六薩南諸島・琉球列島	百四十二
五都邑	四十八	三産業	百六	附録	百四十二
第四 中部地方	五十	四交通	百九		
一區域	五十	五都邑	百十二		



尋常小學地理書卷一

第一 日本

我が國の領土・四周

我が日本はアジヤ洲の東部にあつて、日本列島と朝鮮半島から成立つてゐる。

日本列島は北東から南西へ凡そ五千キロメートルにわたつて、太平洋の中に連なつてゐる大小あまたの島々である。その中、殊に大きいのは本州・北海道・本島・樺太(南部)・四國・九州・臺灣である。小さい島島の中では九州と臺灣との間に並んでゐる琉球

列島、北海道本島の北東に並んでゐる千島列島が  
主なものである。

日本列島の北東から西南西にかけてはオホーツ  
ク海・日本海・黄海・東支那海があつて、これ等の海を  
へだて、アジヤ大陸のシベリヤ・滿洲・朝鮮及び支  
那がある。日本列島の南西から東にかけて太平洋  
の中に、フリピン群島及びハワイ諸島、その他大洋  
洲の島々がある。又太平洋をへだて、東に北アメ  
リカ洲がある。

朝鮮半島はアジヤ大陸の東部の一大半島で、北か

七萬五千平方キロメートル

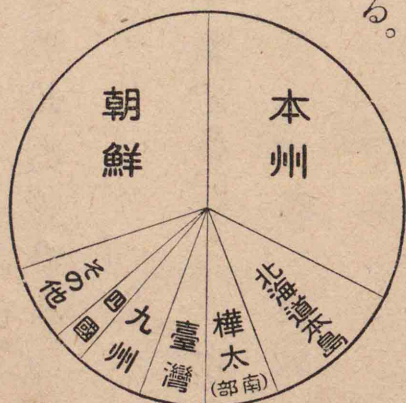
面積

地勢・氣候・  
産業・交通

ら南にかけて長さ約一千キロメートル、北は滿洲  
及びシベリヤにつゞいてゐる。

我が國の總面積は凡そ六十  
七萬五千平方キロメートル  
で、本州と朝鮮半島とは各そ  
の約三分の一に當つてゐる。

我が國は北東部には寒さのきびしい處があり、南  
西部には暑さのきびしい處がある。しかし大部分  
は氣候が温和で雨量もゆたかだ地味が肥えてゐ  
る。それ故、一般に山が多く平地が少いにかゝはら



面積の比較

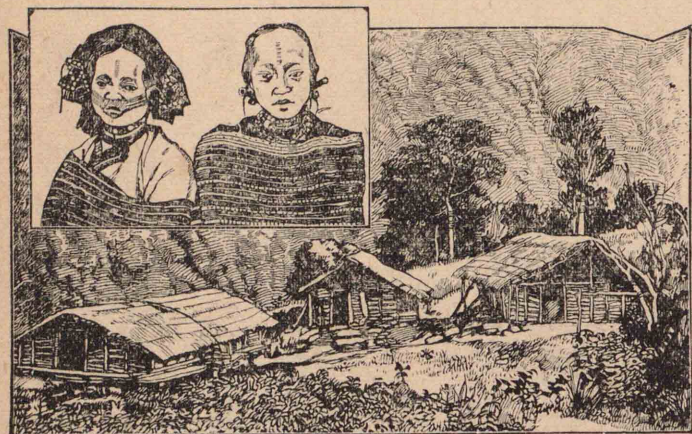
ず、種々の農産物が出来る。森林地が多いので林産物も少くない。又處々から鑛産物も出る。川は大てい狭くて短く、且流れが急で、交通上の便は少いが、灌漑かんがいや發電には利用されてゐる。近海には暖流や寒流があるので、水産物がたくさんとれる。

したがつて農業・林業・鑛業・水産業がそれぐ、相當に發達してゐるのみならず、工業も發達し、内外各地の原料を使用して、盛に種々の工業品を造つてゐる。これと共に商業も發達して諸外國との貿易

尋地一

尋地一

九千萬人 國民



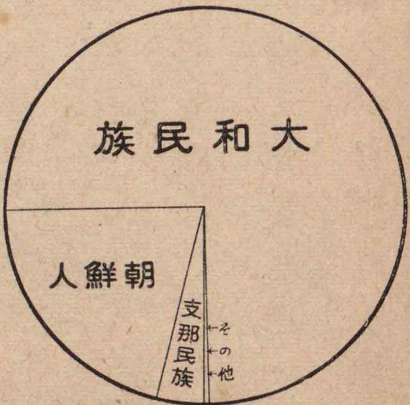
家住のそと人士灣臺

も盛である。又道路・鐵道・航路も開け、郵便・電信・電話なども

行きわたつて、内

外の交通が海陸共に便利である。

國民の總數は九千萬を超え、その大部分は大和民族であるが、朝鮮には約二千萬の朝



合割のそと別族民の民國

行政區劃

鮮人、臺灣には支那から移住した約四百三十萬の支那民族と、十餘萬の土人とがある。又北海道本島には少數のアイヌ人、樺太には少數のアイヌ人とその他の土人がある。諸外國に移住してゐる大和民族は約六十萬である。行政上の便利のために、本州・四國・九州及びこれ等に屬する島々を三府四十三縣に分け、これを治め



家住のそと人ヌイア

尋地一

るため府には府廳、縣には縣廳を置いてある。その他、北海道本島・千島列島を北海道として、こゝに北海道廳を置き、樺太には樺太廳、朝鮮・臺灣にはそれぞれ總督府を置いてある。我が國にはこの外に、滿洲から租借してゐる關東州がある。又列國から預かつた南洋群島がある。關東州



家住のそと人クヤリギ

地方區劃

を治めるために關東廳、南洋群島を治めるために南洋廳を置いてある。

我が國の政府は東京にあつて、これ等の諸官廳を總轄してゐる。

今便宜のため、本州を關東・奧羽・中部・近畿・中國の五地方に分け、これに四國・九州・北海道・樺太・臺灣・朝鮮の各地方を加へて、全國を十一地方に分ける。

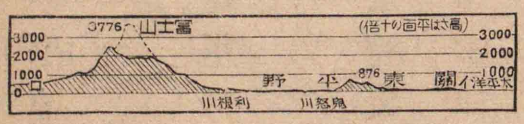
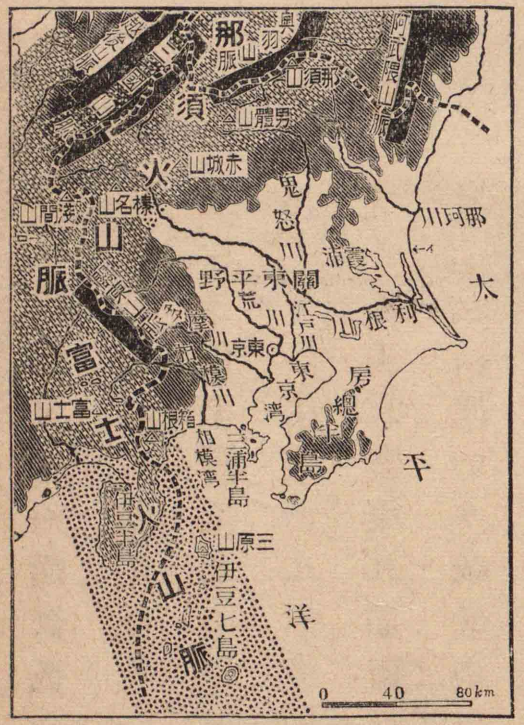
### 第二 關東地方

#### 一 區域

尋地一

房總  
三浦  
半島

關東地方の地勢と断面の略圖



東京府と神奈川・千葉・埼玉・群馬・栃木・茨城の六縣の區域を關東地方といふ。

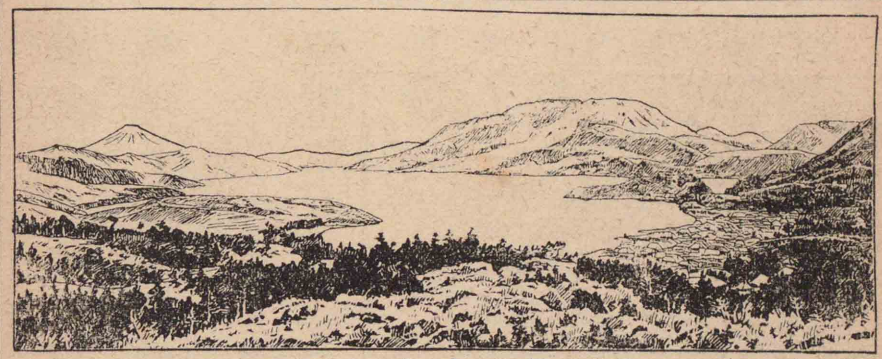
二 地勢

關東地方は西部から北部にかけては一帯に山地

で、南部の房總・三浦の二半島には小山が多い。その他の大

北國山脈  
三國山脈  
須男體赤城榛名

山



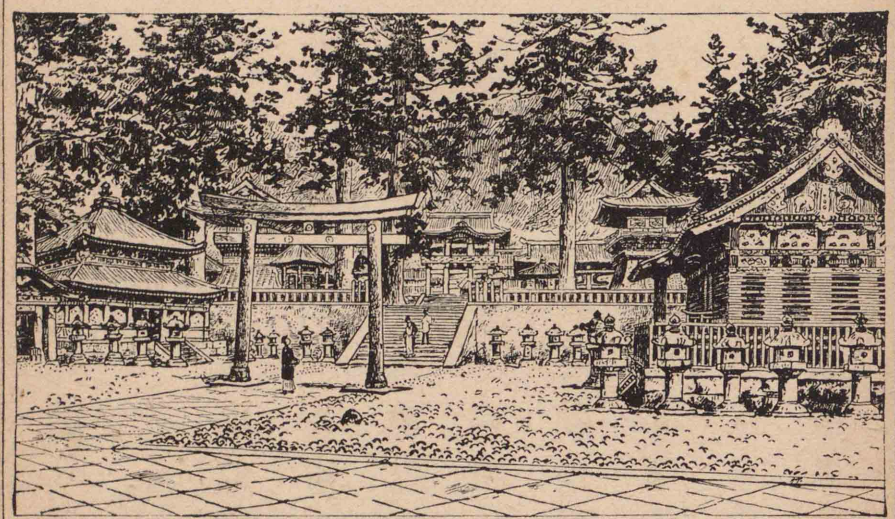
(近附湖-蘆) 山 根 箱

部分は一面の低い平地で、廣さに於いて我が國第一といはれる關東平野である。川は主に西部・北部の山地から出てゆるやかにこの平野を流れて東京灣又は相模灣にはいり、或はたゞちに太平洋にはいる。  
北部の山地には三國山脈と那須火山脈がある。那須火山脈には那須男體・赤城・榛名の諸火山があつ

尋地一

西部  
富士火山脈

箱根  
塩原日光  
伊香保



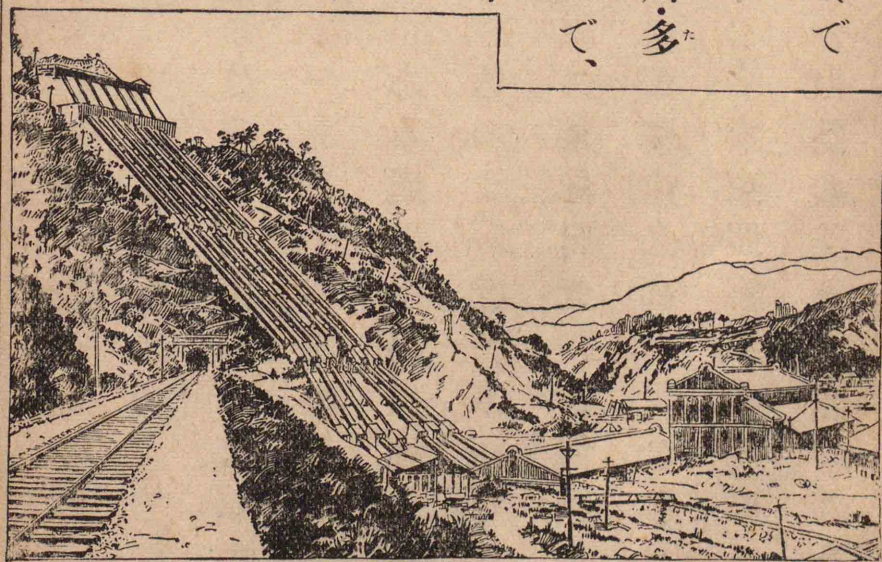
宮 照 東 の 光 日

て關東平野の北を限つてゐる。又西部の山地には富士火山脈の箱根山がある。これ等の火山のある處には温泉地や景色のよい處が多い。中でも塩原・日光・伊香保・箱根が殊に名高い。日光は有名な東照宮のある處で、自然の美と人工の美を



兼ね、その名は外國へまでも聞えてゐる。

川は那珂川・利根川・荒川・多摩川・相模川が主なもので、大てい上流は發電に、下流は灌溉運輸に利用されてゐる。中でも利根川は流域が最も廣く、下流は霞浦や江戸川など、航路がついてゐて、汽



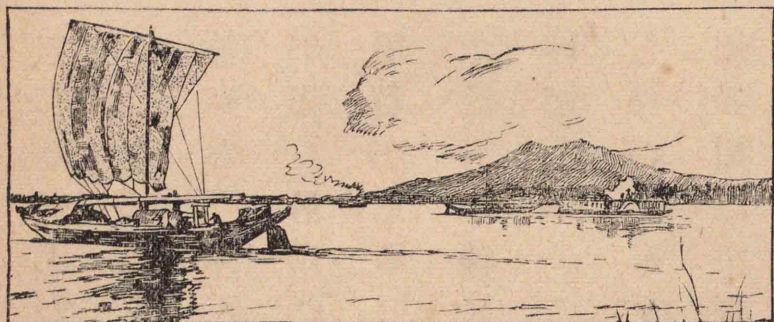
(るあに縣梨山) 所電發の流上川模相

尋地一

利根川  
荒川  
多摩川  
相模川

水力電氣  
利根川  
相模川

海岸



船も往來してゐる。我が國で水運の便の最も多い

のは實にこの川である。

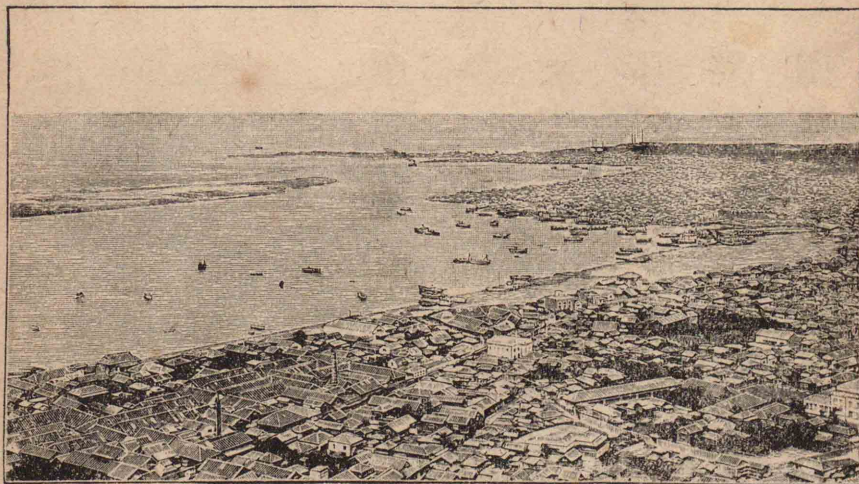
水力電氣で殊に名高いのは利根川と相模川とで、その電氣は主として東京に送られて電車の動力や電燈に用ひられてゐる。

又多摩川の水は東京にひかれ、相模川の水は横濱にひかれて、市民の飲料水や用水となつてゐる。

この地方の南部には房總・三浦の

銚子 (利根川)

二半島があつて東京灣をかこんでゐる。この灣内は波がおだやかで交通の便が多く、沿岸に東京・横濱・横須賀がある。この他の部分では海岸線の出入が少く砂濱が多いので、良港は殆どない。やゝよいのは利根川の川口を利用してゐる銚子である。



銚子港

尋常  
地

相模灣の沿岸と房總半島の海岸は氣候が温和で風景がよく、殊に相模灣沿岸の鎌倉は歴史上にも有名な處である。

三 産業

農業・工業

關東平野は一般に氣候が温和で地味も肥えてゐる。したがつて農業が大いに發達してゐる。主な農産物は米・麥・さつまいも・野菜で、中でも麥はその産額が多く、我が國の内地の麥の總産額の凡そ四分の一はこの平野から出る。この平野の北東

農産物  
若草さつまいも野菜

臺灣 方地	方地鮮朝	他のそ 方地の	東關 方地の	畿近 方地の	州九 方地の	羽奥 方地の	方地部中
----------	------	------------	-----------	-----------	-----------	-----------	------

米の産額の比較

(年三和昭) トツリトクへ萬百五千四億一約額産年

養蠶業 製絲業  
群馬縣前橋市絲

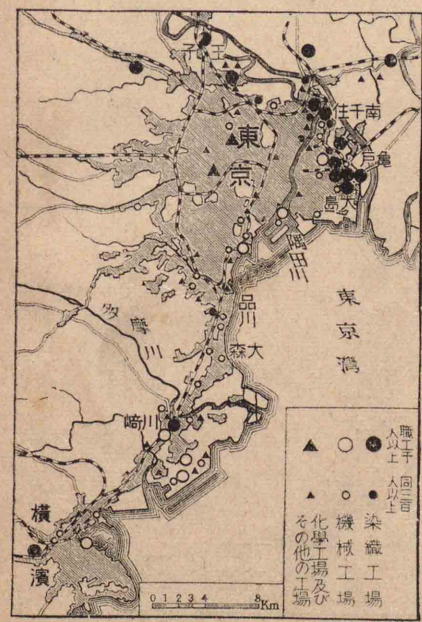
絹織物の産地  
桐生足利伊勢  
八王子秩父

麥の産額の比較  
(麥燕・麥小・麥稈・麥大)  
(年三和昭) ルトツリトクへ萬百九千五約額産年

方地鮮朝	方地の他のそ	方地州九	方地東關
		地内	

織物の主な産地  
は桐生足利伊勢

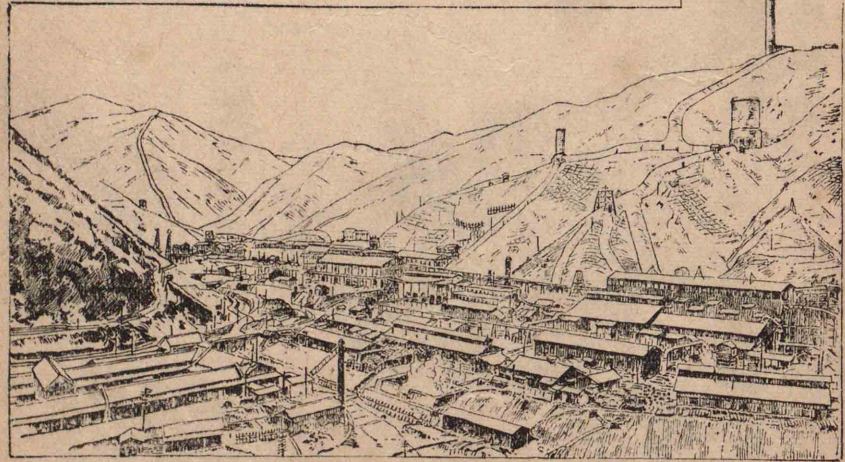
部では煙草をも産する。  
 關東平野の西部・北部から附近の山地  
 にかけては養蠶業・製絲業が盛で、前橋  
 は生絲の主な産地である。  
 又この一帯の地方には絹織物業も發  
 達してゐる。  
 絹織物の主な産地は桐生足利伊勢



東京・横濱及びその附近の工場分布

尋地一

崎八王子秩父である。  
 東京・横濱及びその附近は  
 我が國の一大工業地區を  
 なし、大きな工場がたくさ  
 んあつて、綿絲・毛織物・砂糖・  
 麥粉・機械・洋紙・肥料・雜貨な  
 どを製造してゐる。したが  
 つて東京・横濱には商業も  
 盛である。



日立立山

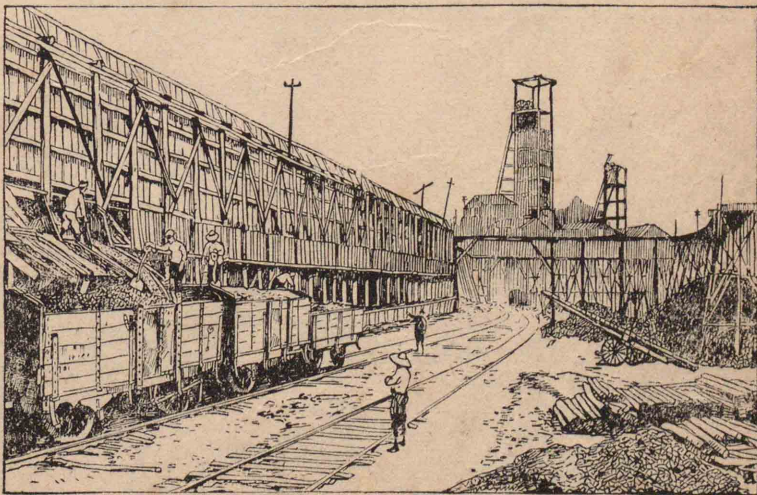
鑛業

足尾日立  
銅

常磐炭田

水産業

關東地方には足尾日立の  
 二大鑛山があつて、共に大  
 きな製鍊所を有し、他の鑛  
 山の鑛石をも製鍊してゐ  
 る。その製鍊高は兩鑛山と  
 も銅が第一で、金・銀も少く  
 ない。又常磐炭田は關東・奥  
 羽兩地方に跨つてゐる炭  
 田で、石炭の産額が多い。  
 近海には暖流があつて水産物が多いから漁業も



常磐炭田に於ける石炭の積出し(福島縣に於る坑)

尋地一

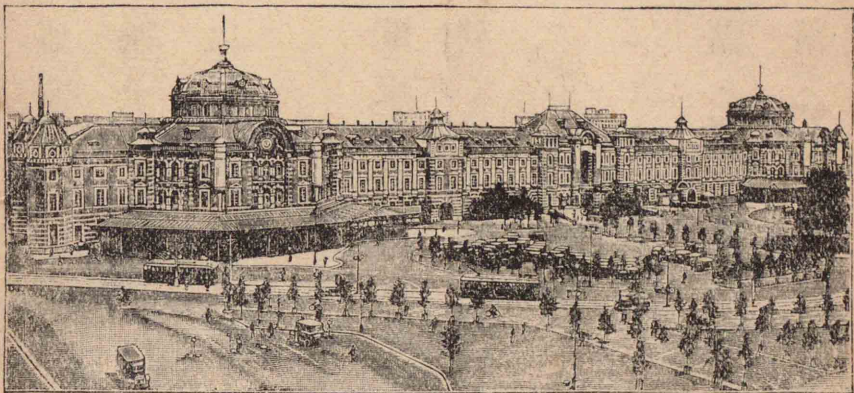
尋地一

盛で、いわしまぐるがたくさんとれる。主な漁港は  
 銚子である。東京灣の北部では淺瀬を利用して盛  
 にのりの養殖をしてゐる。

#### 四 交通

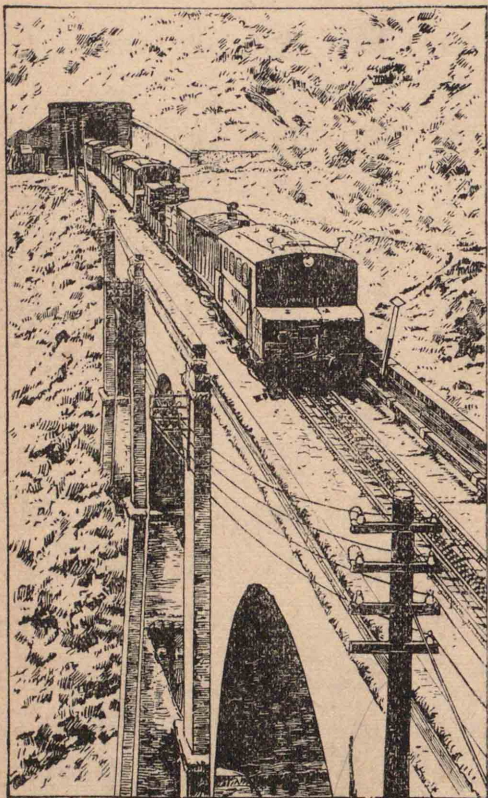
關東平野は産業の發達につれて、交通は一般に便  
 利である。殊に東京横濱附近は汽車・電車・自動車な  
 どの交通機關の極めて發達してゐる處で、又東京  
 には地下鐵道もある。鐵道の主なものは東京を起  
 點として各地に通じ、航路の主なものは横濱を起  
 點として内外諸港に通じてゐる。

陸上の交通



東海道本線は我が國主要の鐵道で、東京を起點として西に向ひ横濱・名古屋・京都・大阪を過ぎ東て神戸で終り、こゝで山陽本線に接續してゐる。東北本線は東京から北東に向ひ仙臺を過ぎ青森に達してゐる。東海道本線・東北本線及び山陽本線は、共に本州の鐵道の幹線で、設備も最もよくととのひ、汽車の速力

尋地一 尋地一



道鐵の峠氷碓

も最も早く、往復回数も最も多い。この外、東京から北東部の海岸をへて奥羽地方に入り東北本線と合する常磐線があり、又東京から中部地方の山地を通つて名古屋に至る中央本線がある。なほ大宮

高崎間には高崎線があり、高崎からは信越本線があつて、直江津・新潟に、

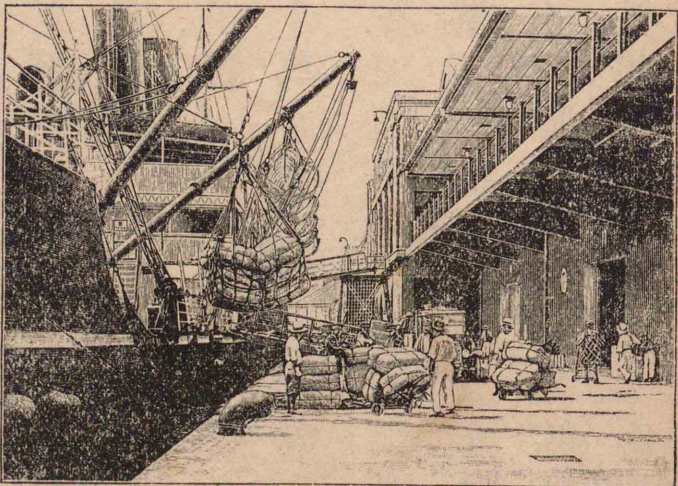
海上の交通

又上越線があつて新潟に通じてゐる。東海道本線・中央本線・信越本線・上越線が山地を越える處にはトンネルが多い。上越線の清水トンネルは我が國第一の長いトンネルである。又信越本線の碓氷峠では傾斜が殊に急なので線路に齒止めを設けてゐる。横濱を起點とする外國航路は南北兩アメリカ洲・支那・印度・ヨーロッパ・澳洲・オーストラリア等、世界各地の港に通じてゐる。したがつて横濱には内外國の汽船がたえず出入する。

尋地一

通信

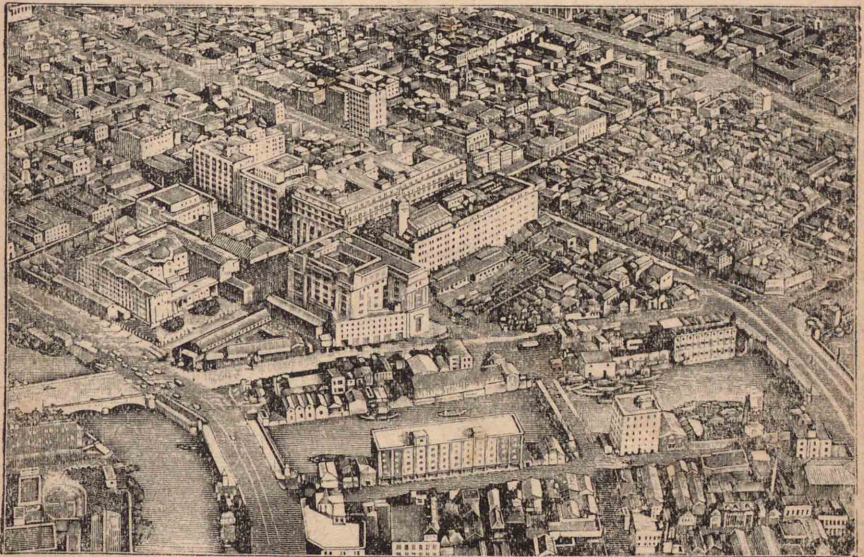
郵便・電信電話はいづれも東京を中心として各地に通じてゐる。中でも小笠原諸島の父島に至る海底電線は、こゝでアメリカ合衆國の太平洋海底電線と接續する。又東京無線電信局は世界に於いても有名なもので遠くアメリカ合衆國と通信してゐる。



(し出積の絲生) 岸船繫の港濱横

人口東京市  
五百五十万人

東京



東京市の街(日本橋附近)

五 都邑

關東平野は産業や交通が盛であつて大小の都邑が極めて多い。中でも東京は人口凡そ五百五十萬、ロンドン・ニューヨークと並び稱せられる世界的の大都會である。東京は我が國の首府で、荒川下流の低地から西

尋地一  
尋地一

方の臺地にあたつてゐる都會で、三十五區に分れてゐる。宮城をはじめとして内閣・諸官省・日本銀行など政治上、經濟上の中央機關は皆こゝに集つて居り、帝國議會の議事堂もこゝにある。明治神宮や靖國神社もある。又諸外國の大使館・公使館もこゝに置いてある。

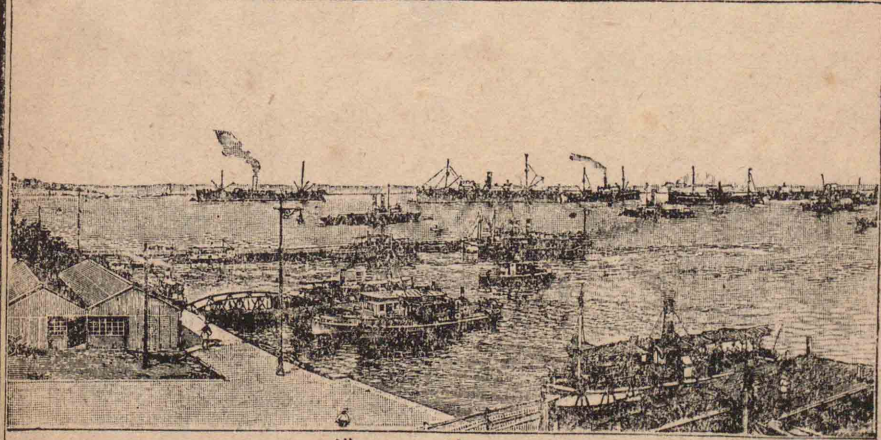
東京は又東京帝國大學、その他、各種の學校、博物館、圖書館等が備はつて、我が國に於ける學術の中心地であり、圖書の出版の盛なことに於いても國內第一である。大きな銀行・會社・工場などもたくさん

にあつて、商工業が極めて盛である。

多摩川の川口にある羽田は飛行場として名高い。

横濱は人口六十二萬、神戸と共に我が國の二大開港場で、その港は廣くて深く、防波堤、棧橋、繫船岸など水陸の設備がよくととのひ、大洋を航行する大きな汽船も自由に出

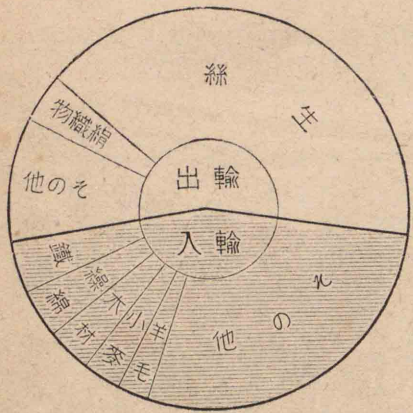
横濱



横濱港

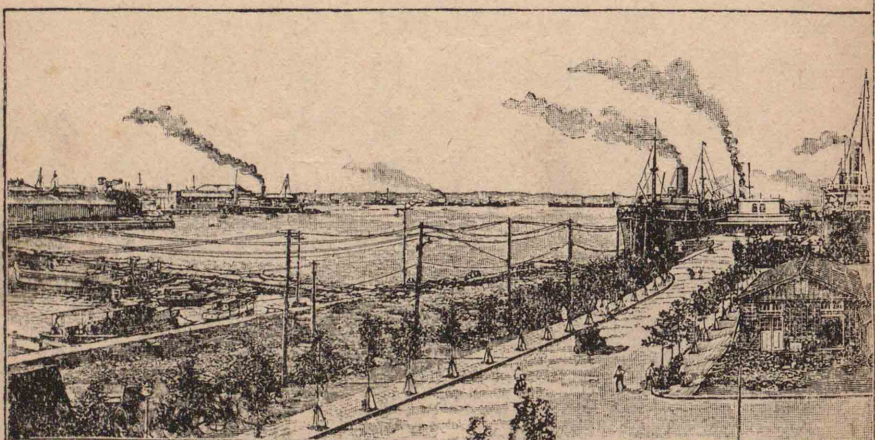
横濱港輸出入比較圖

(年三和昭) 圓萬千四億七約額出輸年  
(年三和昭) 圓萬千一億六約額入輸年



出さ れて、 主と して、 アメ

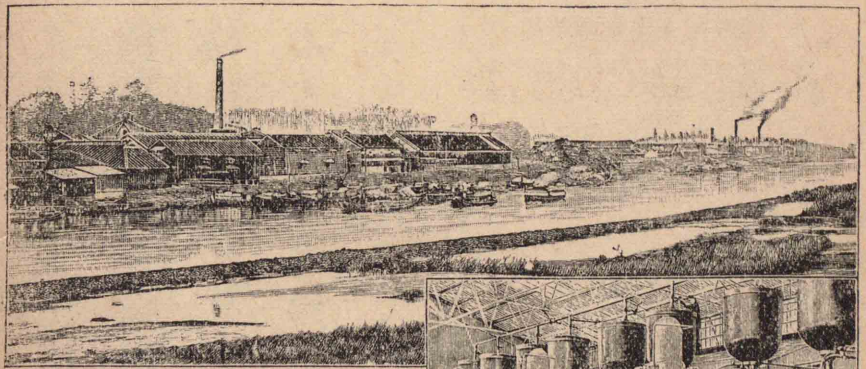
入することが出来る。貿易は輸出が主で、輸出額は我が總輸出額の三分の一を超えてゐる。我が國第一の輸出品たる生絲は大ていこ、から積



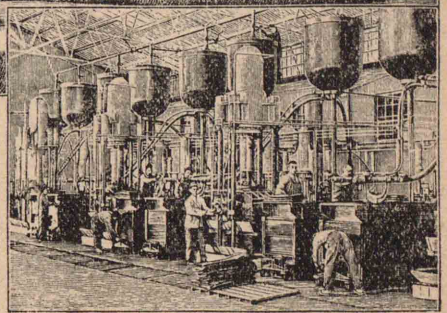
横濱港



その他



川戸江と場工油醬の田野



部内の場工油醬の子銚

リカ合衆國に行くのである。なほこの港から絹織物も輸出される。輸入品の主なものは鐵線綿木材小麥羊毛などである。

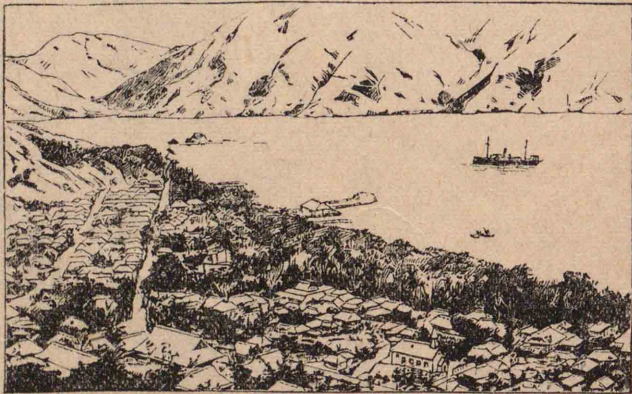
千葉浦和前橋宇都宮水戸は縣廳の所在地である。横須賀は軍港によつて發達した處で艦船兵器を製造する海軍の工場が

尋地一

ある。八王子の附近には大正天皇陵がある。高崎は商業地として、野田銚子は醬油の産地として名高い。

六 伊豆七島小笠原諸島

大島八丈島等の伊豆七島、父島母島等の小笠原諸島は相模灣の南に當つて南北に並んでゐる島々で、共に東京府に屬してゐる。富士火山脈に當つてゐるので火山が多く、その中で名高いのは



港見二の島父

大島の三原山である。これ等の諸島は位置が南方にある上、暖流の影響をも受け、気温が高く、小笠原諸島は殊に暖かです。また、さたりきびを産する。近海は魚類が多いので漁業が盛である。父島の二見港は諸島中唯一の良港で、我が内地と南洋諸島との交通上大切な處である。

### 第三 奥羽地方

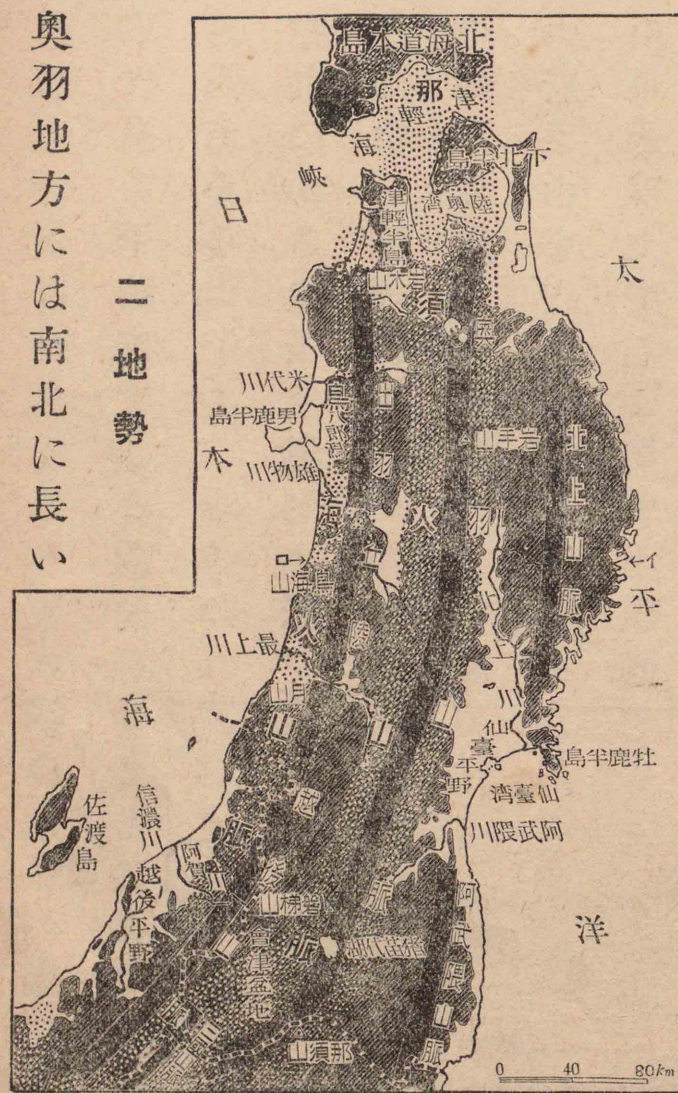
#### 一 區域



奥羽地方の面斷圖略

尋地一

福島・宮城・岩手・青森・秋田・山形の六縣の區域を奥羽地方といふ。



#### 二 地勢

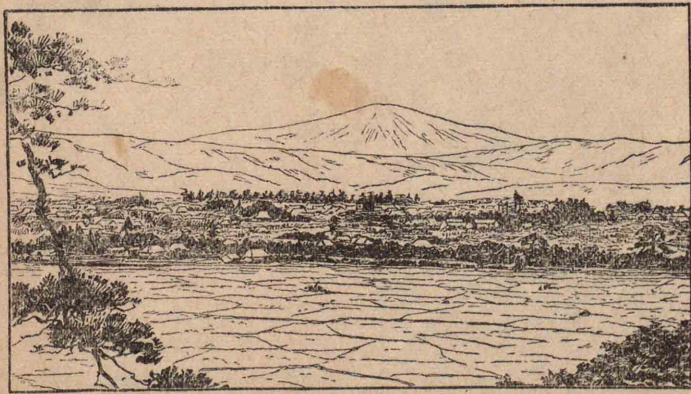
奥羽地方には南北に長い

奥羽地方の地勢の略圖

山

山脈が三列になつてゐる。これ等の山脈の間には東に長い平地をはさみ、西にいくつもの盆地をはさんでゐる。

中央にある山脈は奥羽山脈で、その中を那須火山脈が縦に通つてゐる。那須火山脈には磐梯山・岩手山などあまたの高い火山がそびえてゐる。奥羽山脈はこれ等の高い山と共に奥羽地方の大分水嶺となつてゐる。



山 月 と 形 山

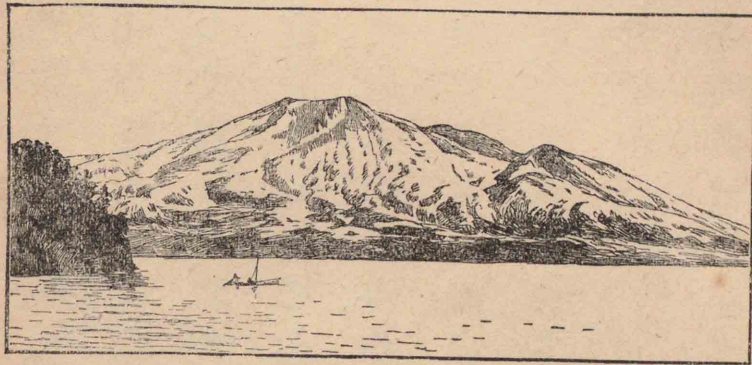
尋地一 詳地一

西にある山脈は處々で切れてゐるが、大體一系の山脈をなしてゐる。その南の部分は越後山脈といつて高いが、北の部分は出羽丘陵といつてあまり高くない。この山脈にも一つの火山脈が通つてゐて、岩木山・鳥海山・月山などの火山がある。

東にある山脈は仙臺灣のために南北の二つに分れ、北にあるのを北上山脈といひ、南にあるのを阿武隈山脈といつてゐる。いづれも高原状になつてゐてあまり高くない。北上山脈の南の端は牡鹿半島となつて仙臺灣の東を限つてゐる。

川

中央の大分水嶺から出てゐる主な川はこれ等の



磐梯山と猪苗代湖

山脈の間にある平地を流れて、東のものは太平洋にはいり、西のものは日本海にはいる。太平洋にはいる主な川は北上川、阿武隈川で、日本海にはいる主な川は米代川、雄物川、最上川、阿賀川である。

これ等の川はいづれも水運の便が少い。しかしその沿岸は陸

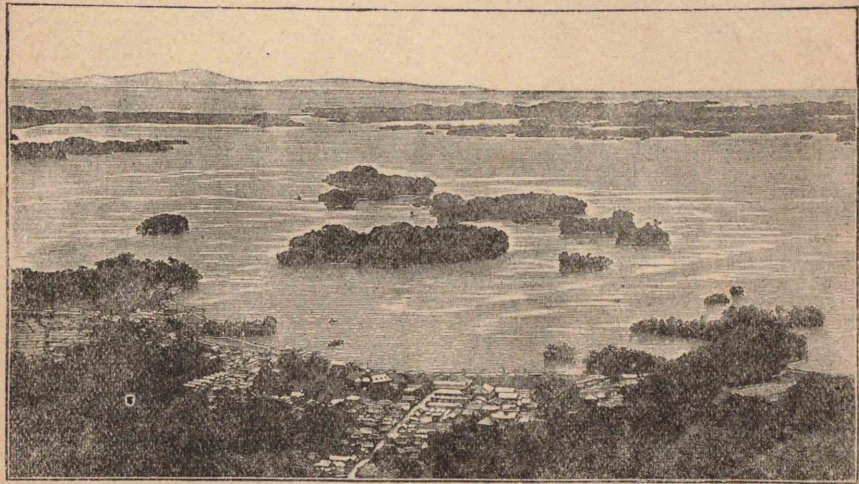
尋地一

上交通の要路に當り、産業も盛で都邑も多い。

阿賀川の水源である猪苗代湖は、その西にある會津盆地に比べると、三百メートルも高い處にあるので、これから流れ出る水を利用して発電所が出來て居り、その電氣は主として遠く東京に送られてゐる。又猪苗代湖の水は疏水運河によつて東の方、郡山附近の平地に送られて灌漑にも用ひられてゐる。

海岸

太平洋方面の中部には小さな出入が多く處々に良灣がある。けれども北上山脈が海岸にせまつて



松島

るて、灣岸の傾斜が急であるために陸上の交通が不便である。又この山脈一帯の地方は産業が十分に發達してゐない。それ故、これ等の良灣も漁港としては利用されてゐるが、商港としてははまださほど利用されてゐない。

仙臺灣の一部には松島灣

がある。この灣内には松のしげつた大小あまたの島があつて、風景が甚だ美しい。

日本海の海岸は中央に男鹿半島や八郎潟があるけれども、一般に海岸線の出入が少く、又砂濱が長くつゞいてゐるので良港がない。

北部には下北津輕の兩半島があつて陸奥灣をはさんでゐる。陸奥灣の沿岸には商港の青森や海軍の要港の大湊がある。下北津輕の兩半島と北海道本島との間には津輕海峡がある。この海峡は交通上大切な處である。

三 産業

この地方第一の産業は農業であるが、耕地が割合に少く、その上、この地方は気温が一般に低いから農産物の産額が少い。しかし山林・原野が殊に多いので林業・牧畜は盛である。又鑛物が多いので處々でこれを採掘してゐる。

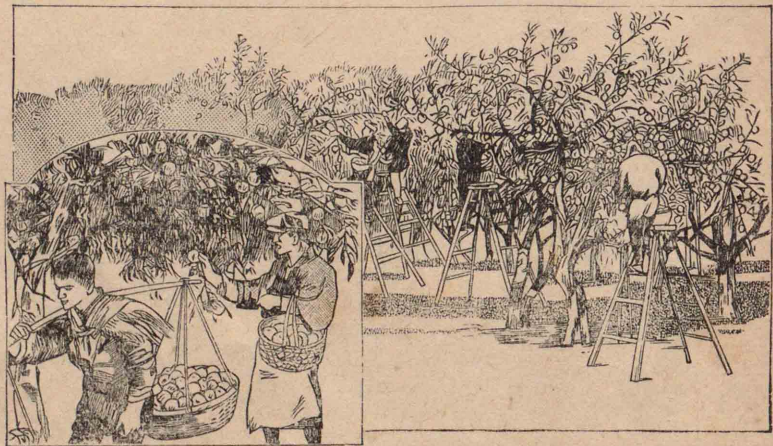
主な川々の沿岸の平地には農業が発達してゐる農産物の中、米は最も主なもの、その主産地は最上川や雄物川沿岸の平地と仙臺平野とである。又大豆・じゃがいも・りんごもその産額が少くない。り

農業・工業

尋地一

んごの主産地は弘前の附近である。

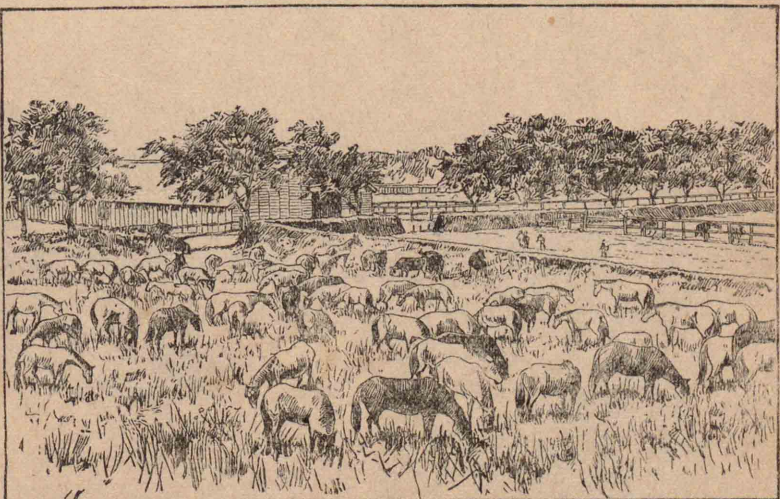
阿武隈川の流域や最上川上流の流域では養蠶業が廣く行はれてゐて、製絲業・絹織物業もまた盛である。殊に阿武隈川の沿岸の福島やその附近では生絲や羽二重が多く出来る。又最上川上流の沿岸にある米澤では絹織物が多く出来る。



集採のごんり

牧畜

太平洋方面には原野が多いので馬の牧畜が盛である。盛岡や白河には秋毎に馬の大市おほいちが開かれて、各地からたくさん馬が集まってくる。

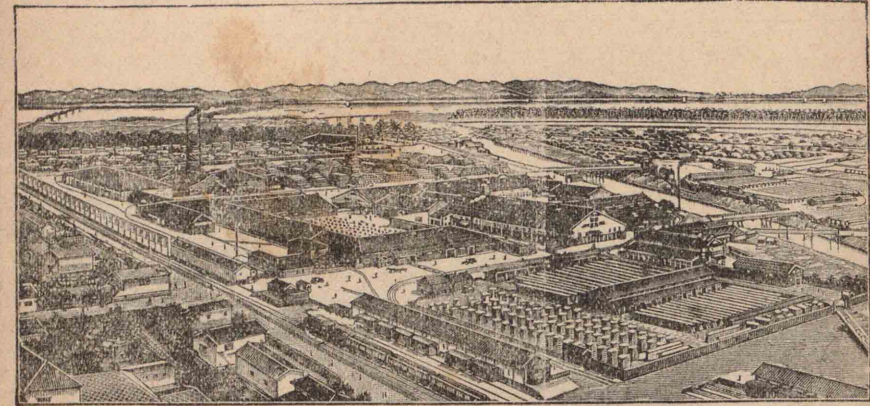


白河附近の牧場

林業

日本海方面には山林が多く、殊に米代川の流域には杉の大森林がある。こゝから出るたくさんの木材は川や鐵道によつて各地

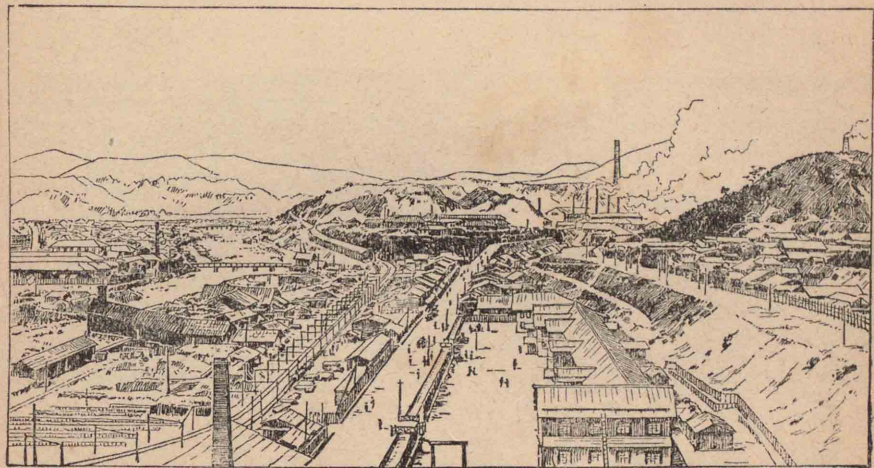
鑛業



能代港にあつては、製材業が處々で行はれ、その中で米代川の川口に近い能代港のしろみなとが最も盛である。米代川の流域と雄物川の流域には銅や銀を産する鑛山が多く、殊に小坂鑛山は我が國屈指の大鑛山で

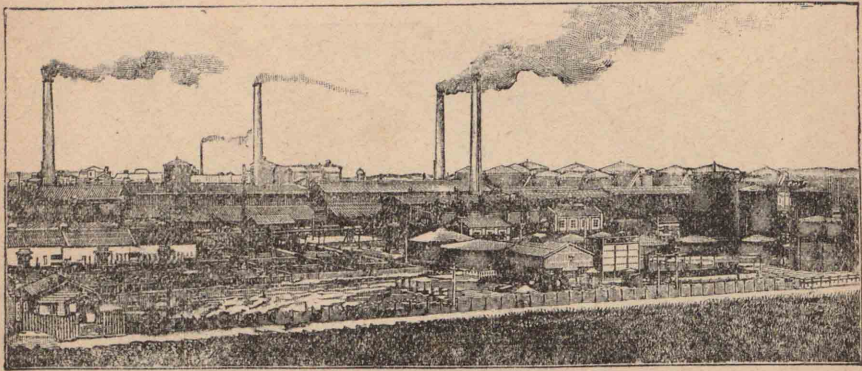
奥羽地方	九州地方	北海道	關東地方	中部地方	その他地方
------	------	-----	------	------	-------

馬の頭数の比較  
(昭和三年) 總數約十六萬頭



ある。この外、釜石かまいし附近には  
 鐵山があり、秋田附近には  
 油田あぶらがあり、平たひら附近には炭  
 田がある。釜石附近の鐵山  
 は我が内地で鐵鑛の産額  
 の最も多い處で、その鑛石  
 は大てい釜石の製鍊所で  
 製鍊される。秋田附近の油  
 田は石油の産額の多いこ  
 とでは、新潟縣の油田と一

水産業



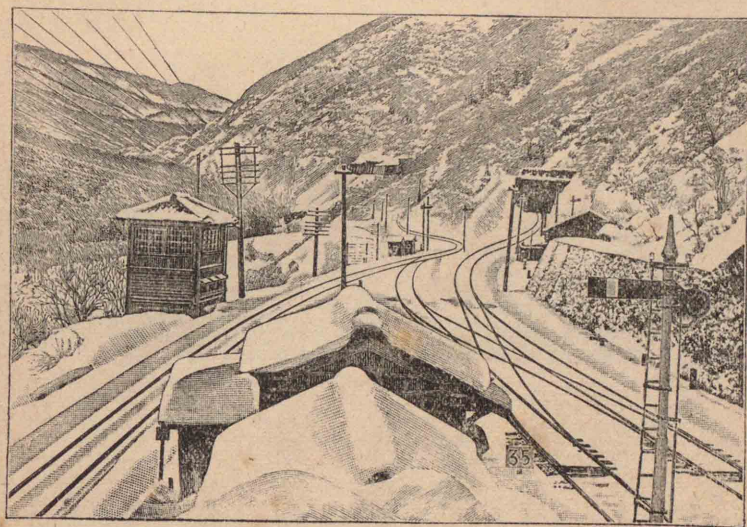
土崎港にあつる製油所

二を争つてゐるもので、その石  
 油は主に土崎港つちさきみなとにある製油所  
 で精製される。平附近の炭田は  
 常磐炭田の北の部分である。  
 太平洋方面の近海、遠洋は水産  
 物が多く、又海岸は漁船の出入  
 に便利であるから漁業が盛で  
 ある。漁獲高いさごの多いのはいわし  
 かつを鯨である。又この海岸地  
 方ではかつをぶし、いわしのし



め粕がたたくさん出来る。

陸上の交通



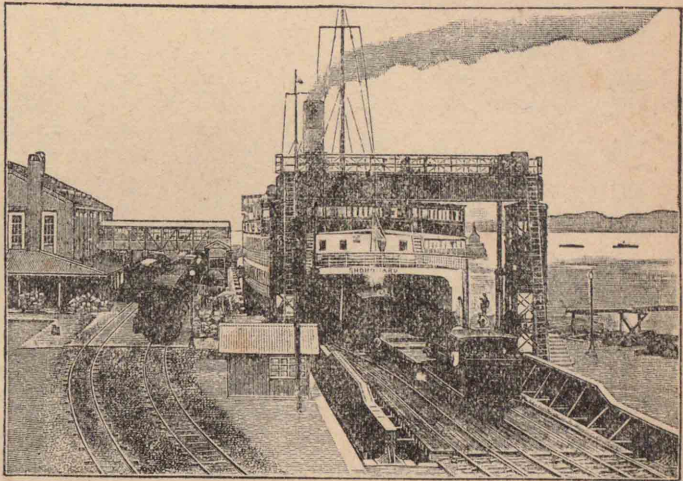
奥羽山脈を横ぎる奥羽本線の一分部

四 交通

主な鐵道には南北に通ずるものと、東西に通ずるものがある。南北に通ずるものは太平洋方面にある東北本線、日本海方面にある奥羽本線、羽越本線である。東北本線、奥羽本線はいづれもこ

の地方の主な川の沿岸平地をつたはつて大きい町々の連絡をとつてゐる。羽越本線は奥羽本線と信越本線との連絡をとるのである。

東北本線は本州の鐵道の幹線の一部であつて、阿武隈川の下流の流域で常磐線と出會ひ、奥羽地方第一の都會たる仙臺に至り、北上川にそつて進み、盛岡をへて青森に至る。奥羽本線は福島に起つて奥羽山脈を横ぎり、最上川の沿岸の米澤、山形、雄物川の沿岸の秋田をへて青森に達する。この線が奥羽山脈を横ぎる處にはトンネルが多く、又傾斜

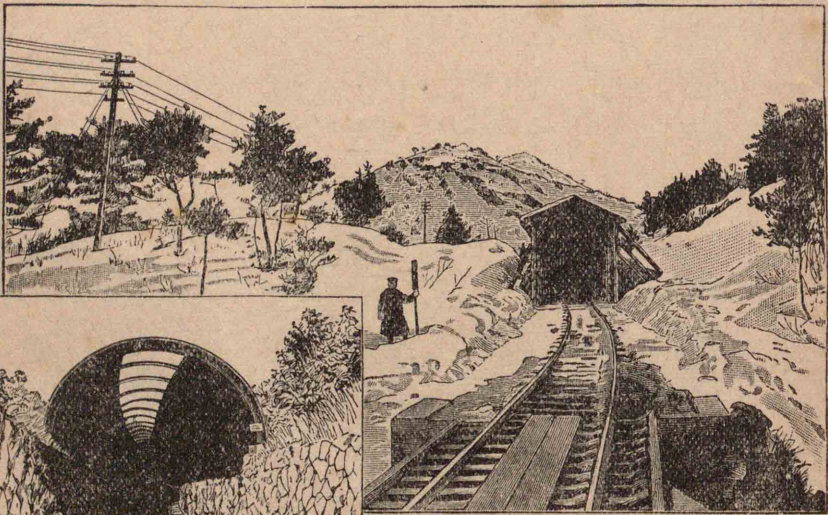


青森港と連絡船

青森と北海道本島の函館が急である。青森と北海道本島との間には鐵道連絡船が往來して、東北・奥羽の兩線と北海道本島の鐵道との連絡をとつてゐる。東西に通ずる主な鐵道は平から郡山若松をへて新潟に至る磐越線と石巻から酒田に至る陸羽線と

本線・奥羽本線などの連絡をとつてゐるものである。奥羽地方は冬季、雪が深いので鐵道には處々に雪よけトンネルを設けてあるが、それでもなほ積雪のために汽車の交通がしばしばさまたげられる。殊に日本海方面

本線・奥羽本線などの連絡をとつてゐるものである。奥羽地方は冬季、雪が深いので鐵道には處々に雪よけトンネルを設けてあるが、それでもなほ積雪のために汽車の交通がしばしばさまたげられる。殊に日本海方面



雪よけトンネル

海上の交通

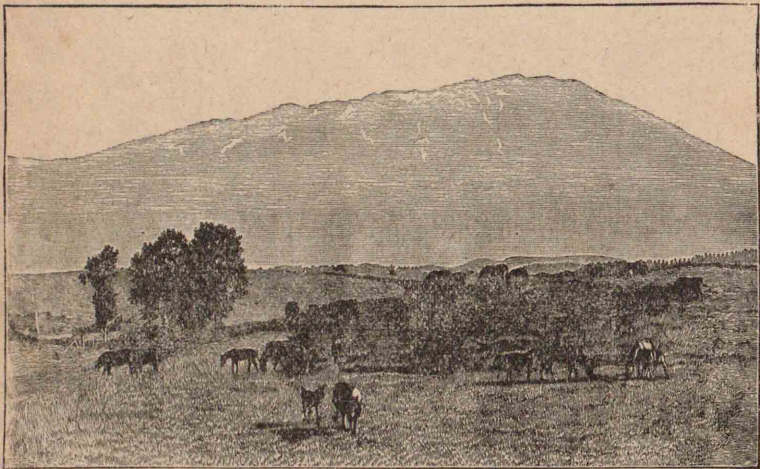
は太平洋方面よりも雪が深く、汽車の故障も少くない。

海上の交通は良港が少いのでまだ不便をまぬがれない。殊に日本海方面の近海は冬季、波風が荒く雪が多いので、この季節には船の交通が一層不便である。しかし青森・塩釜の二港はよほど改良されて、この地方での重要な港となつてゐる。

五 都邑

奥羽地方は面積が大きい割合に人口は多くない。しかし三列の山脈の間にある平地と、最上川・雄物

川の各下流の平地は産業が発達し交通が便利であるから人口が密で都邑が多い。東北本線と奥羽本線とはこれ等の都邑の多い處を通つてゐるのである。東北本線にそつてゐる都會では郡山・福島・仙臺・盛岡・青森、奥羽本線にそつてゐる都會では米澤・山形・秋田・弘前が主なものである。



盛岡附近の馬の牧場と岩手山

仙臺には東北帝國大學がある。又會津盆地の若松もこの地方での屈指の都會である。これ等の都會の中で福島・仙臺・盛岡・青森・秋田・山形はいづれも縣廳の所在地である。

### 第四 中部地方

#### 一 區域

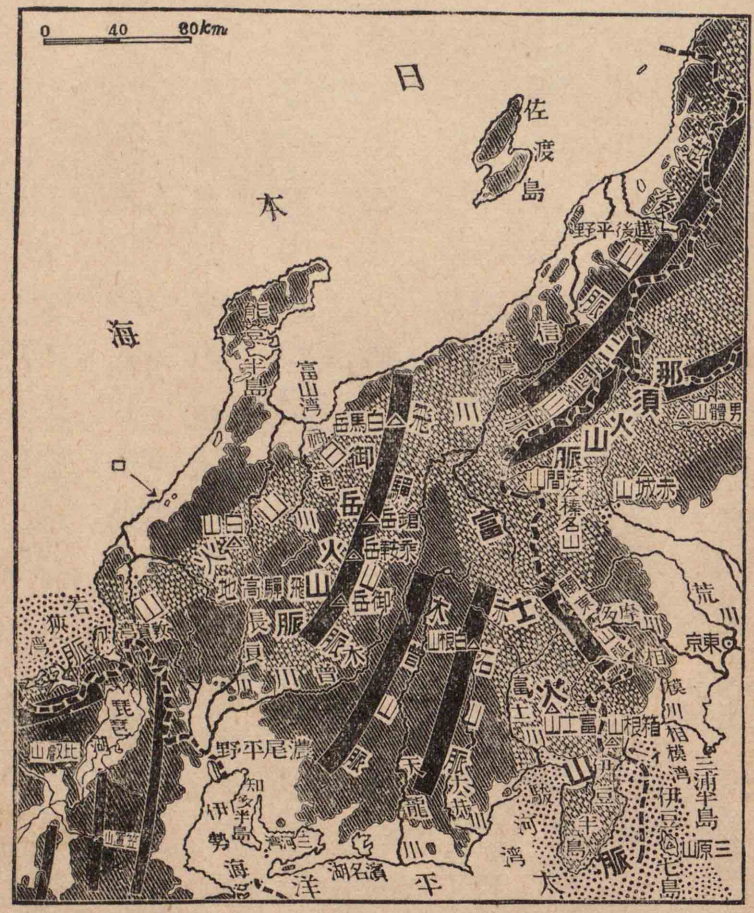
静岡・愛知・岐阜・山梨・長野・新潟・富山・石川・福井の九縣の區域を中部地方といふ。

#### 二 地勢氣候

尋地一

地勢

中部地方の地勢の略圖



中部地方の断面の略圖

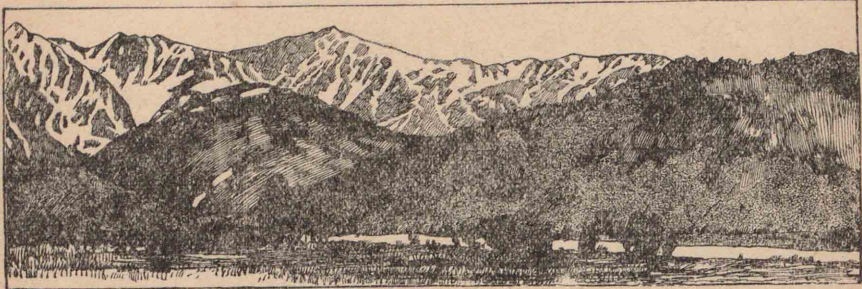
中部地方は本州の中で最も幅の広い處であつて、

その中央部には飛驒・木曾・赤石の三大山脈がそれぞれ南北にわたつて相並んでゐる。これ等の山脈は我が内地の中で最も高くてけはしい處で、中部地方の主な分水嶺となつてゐる。

これ等の大山脈の間や、その北西の飛驒高地には深い大きな谷があつて、それ／＼に大きな川が出來、それ等が或は南の方、太平洋にはいり、或は北の方、日本海にはいる。これ等の川はいづれも我が國での屈指の大川であるが、その流れが早いので水運にはあまり便利でない。しかし灌漑・發電には利

尋地一

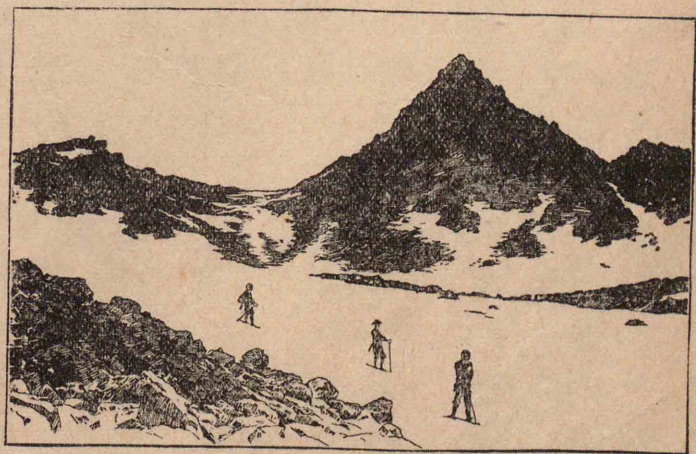
山



白馬岳

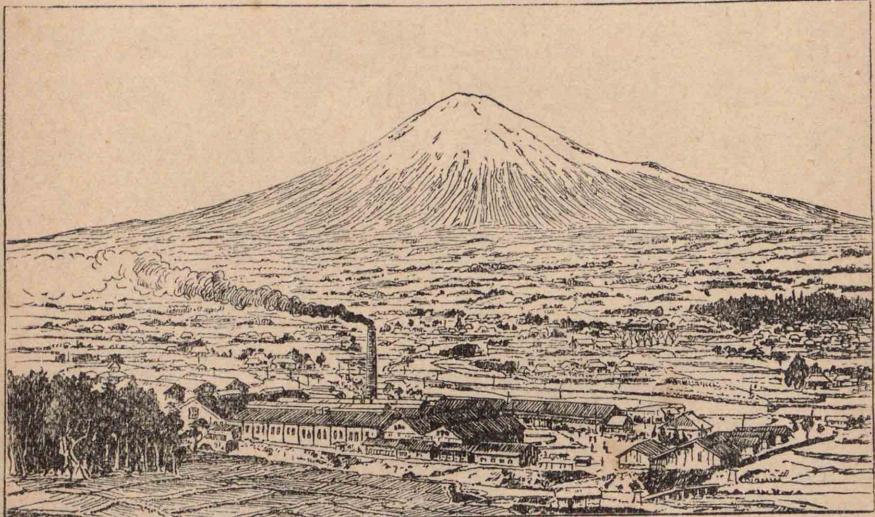
用され、上流には大小あまたの水力發電所がある。又沿岸處々の平地には産業が発達し、都邑も出來てゐる。殊に下流の海岸地方の平地は面積が大きく、産業も発達し交通も便利で、都邑の數も多い。  
飛驒山脈はこの地方の中央にあつて、槍岳・白馬岳などの山々がその中にそびえてゐる。又この山脈にそつて御岳火山脈が通つてゐるので、御

岳・乗鞍岳等の高い火山がその中にある。これ等の山々は  
いづれも極めてけはしくて  
高いから、その景色がいかに  
も雄大である。山上には夏で  
も冬に積つた雪がとけきら  
ないで、いはゆる雪溪をつく  
つてゐる處もある。



上頂と溪雪の岳槍

赤石山脈は飛驒山脈におとらぬ高い山脈で、その  
中の白根山は我が内地では富士山に次ぐ高峯で



場工紙製の近附宮大と山士富

ある。

中部地方の東部には富  
士火山脈が南北に通つ  
てゐて、その脈は南の方  
伊豆七島をへて遠く小  
笠原諸島にも及んでゐ  
る。この火山脈の主峯は  
即ち富士山で、高さは凡  
そ三千八百メートル、四  
時雪をいたゞいて駿河

灣の沿岸にそびえてゐる美しい姿は、まことに我が國第一の名山たるにはぢない。なほこの地方には、東の境にあつてたえず煙を噴いてゐる淺間山や、飛驒高地の西にそびえてゐる白山など名高い火山がある。

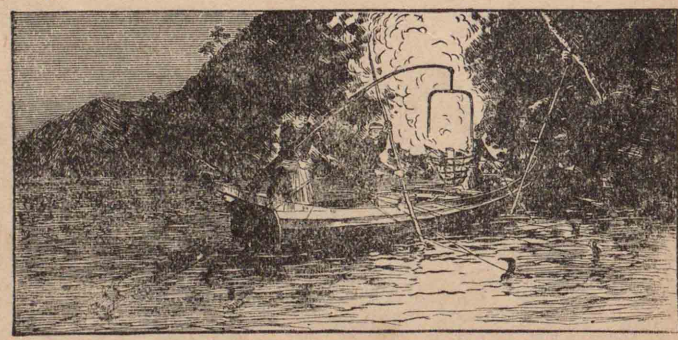
これ等の火山のある處には温泉地が多い。中でも富士火山脈に當つてゐる伊豆半島の熱海・修善寺が最も名高い。

太平洋方面の主な川は木曾川・天龍川・大井川・富士川である。その中、天龍川はたゞちに太平洋にはい

川平地

尋地一

つてゐるが、富士川・大井川は駿河灣にはいり、木曾川は伊勢海にはいつてゐる。木曾川は鵜飼で名高い長良川や、その他の川と共に濃尾平野を灌漑してゐる。この平野は關東平野に次ぐ大平野で、農産物がたくさん出来るばかりでなく、交通も便利であるから名古屋・岡崎・岐阜・大垣などあまたの都會が出来てゐる。日本海方面の主な川には信濃川・黒部川・神通川・庄



長良川の鵜飼



黒部川

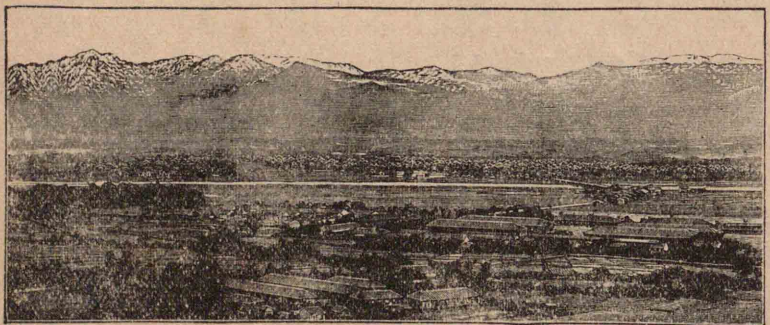
ある處は下流の一部分に過ぎない。しかし灌漑には便利で、その流域にある平地では農業が廣く行はれ、殊に下流流域の越後平野で盛である。この平野は濃尾平野に次ぐ大平野で農産物の産額が多

川九頭龍川がある。信濃川は本州第一の大川で、長さには三百七十キロメートルもあるが、船の通つて

海岸

く、交通も便利である。したがつて都邑も多い。これ等諸川の中、水力の利用では木曾川・信濃川が最も名高く、その電氣は遠く東京や大阪へ送られるものもある。

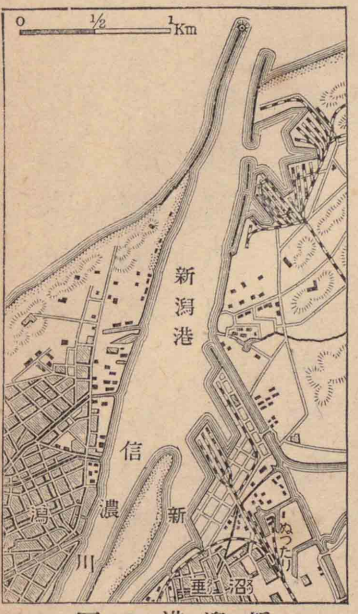
太平洋の沿岸には東に伊豆半島があつて駿河灣の東を限り、西に知多半島があつて三河灣と伊勢海とをへだて、ある。駿河灣の沿岸の清水と伊勢海の沿岸の名古



神通川と富山



屋とは共に名高い港である。いづれも産業の盛な  
 地方にあつて、陸上の交通も便利であるから、船の  
 出入もしげく、商業もはんじやうしてゐる。駿河灣  
 と伊勢海との間は濱名湖があるばかりで、海岸線  
 の出入が甚だ少く良港もない。



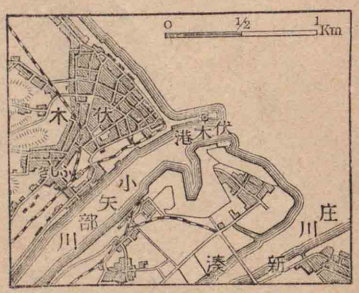
圖の港潟新

日本海の沿岸には南西部に若狭灣がある。この灣  
 の沿岸には小さな灣  
 が多くて、敦賀の良港  
 がある。中央の部分に  
 は能登半島がつき出

尋地一

氣候

てゐて、その東海岸に七尾がある。こ  
 の他の部分は海岸線の出入が少い  
 上に砂濱が多いので自然の良港に  
 とぼしい。新潟・伏木の兩港は日本海  
 方面での重要な港ではあるが、海岸の港ではなく、  
 川口を利用したものである。



圖の港木伏

中部地方には太平洋方面も日本海方面も、近海に  
 島が極めて少い。大きいのは日本海の佐渡島だけ  
 である。  
 太平洋の沿岸地方は地勢と暖流との影響のため



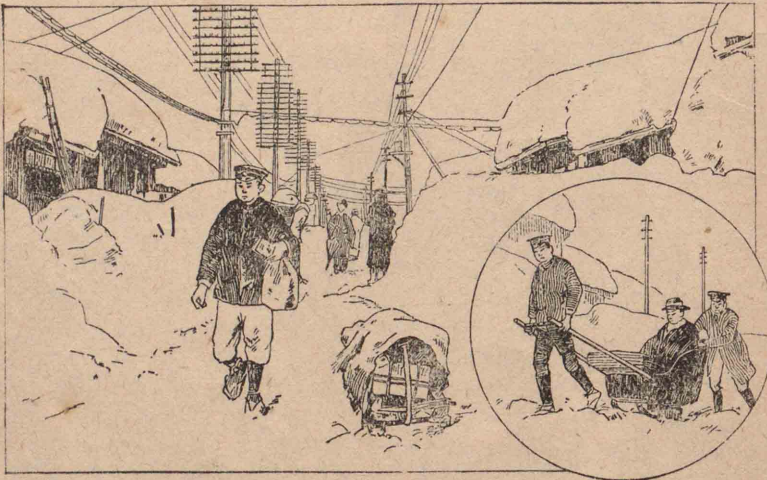
(近附田高) スキー

地もあるから、冬は交通にも産業にも不便が多い。中央部は地勢の影響で雨量が少く、又海岸地方よりも冬の寒さが強い。諏訪湖ではスケートが盛である。

### 三 産業

氣候が温和で、處々に保養地がある。又この地方は夏、雨量が多い。日本海の沿岸地方は冬、雨量が多くて、スキーで名高い高田附近のやうな深雪

中部地方の大きい川々の下流の流域や、その他の海岸の地方には色々な産業が盛である。殊に太平洋の沿岸地方は農業・工業・商業がいづれも盛である。したがって大きい都會もこの沿岸地方に多い。中央部にも處々に盆地があつて、そこには農業や工業が発達してゐる。又山地には林



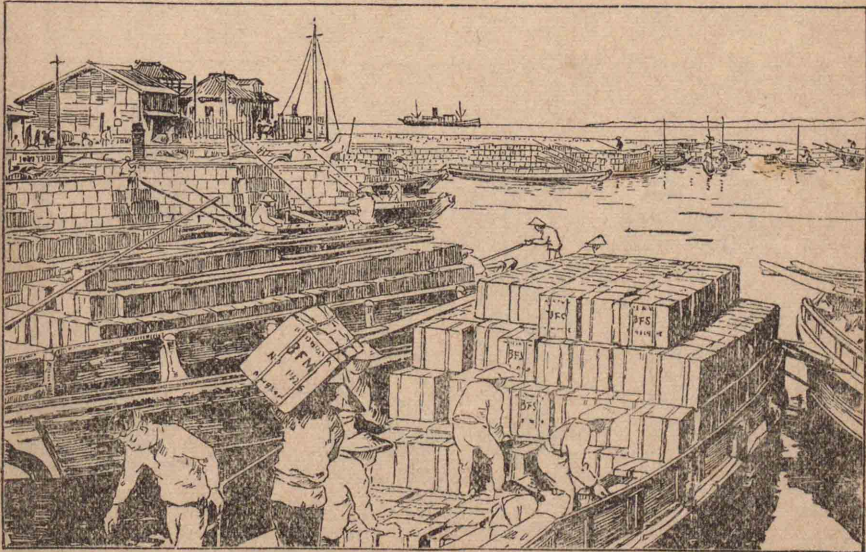
高田の雪積とそり人

農業

茶の産額の比較

(昭和三年) 年産約四千三百萬圓

中部	静岡	岡	縣	その他	京都府	近畿	畿地方	九州	その他	他地方																																																								
中	業	の	盛	な	處	も	ある。	濃	尾	平	野	と	越	後	平	野	と	は	我	が	國	で	の	米	の	主	な	産	地	で	あ	つ	て	、	名	古	屋	新	潟	は	米	の	主	な	濃	集	散	地	と	な	つ	て	あ	る	濃	尾	平	野	は	麥	・	野	菜	な	ど	の



清水港に於ける茶の出積し

工業

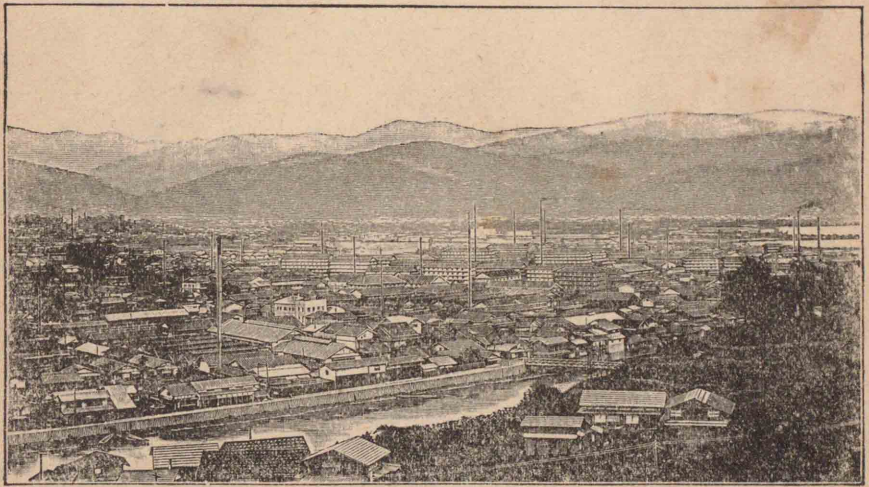
産額も多い。静岡縣の海岸地方には茶・蜜柑かんの産額が多く、静岡では茶の精製取引が盛である。茶は清水から主としてアメリカ合衆國へ輸出される。

中央部と太平洋の沿岸地方は養蠶業が一般に盛であつて、長野・愛知の二縣は繭まゆの産額の殊に多い處である。

養蠶業が盛なのにつれて製絲業も一般に盛で、長野・愛知の二縣は生絲の産額でもはるかに他の諸縣をしのいでゐる。殊

中部	愛知縣	その他	群馬縣	埼玉縣	その他	その他	他地方
中	部	方	地	東	關	方	地

繭の産額の比較 (昭和三年) 年産約三億七千萬圓



岡谷の製絲工場

に長野縣は我が國の生絲總産額の約四分の一を出してゐる。同縣の諏訪湖沿岸の岡谷は我が國製絲業の大中心地であつて、大小あまたの製絲工場が立並び、繭を各地から集めて盛んに生絲を製してゐる。日本海の沿岸地方は一般に絹織物業が發達してゐる。

生絲の産額の比較

(年三和昭)圓萬千四億八約額産年

長野縣	愛知縣	山梨縣	その他の縣	群馬縣	埼玉縣	その他の縣
中部地方	中部地方	中部地方	中部地方	關東地方	關東地方	その他地方

るが、中でも福井・金澤及びその附近は我が國での羽二重・富士絹の主産地である。

名古屋及びその附近では諸種の工業が盛であつて、その製産額の多いのは綿織物・綿絲・毛織物・陶器・時計である。陶器は我が國での主な輸出品の一つであつて、瀬戸・多治見・金澤でも産する。

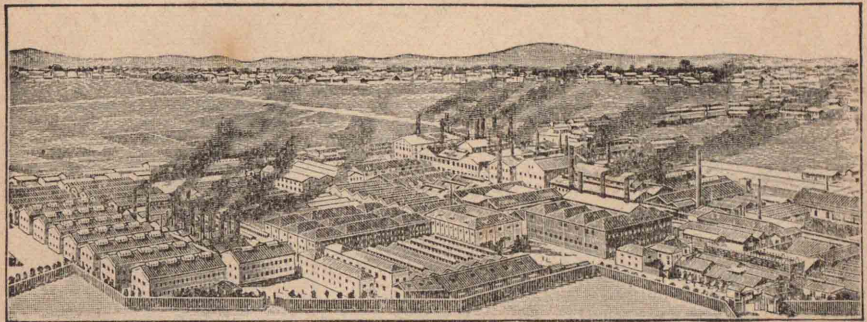
福井縣	石川縣	その他の縣	群馬縣	その他の縣	京都府	近畿地方
中部地方	中部地方	中部地方	關東地方	關東地方	關東地方	近畿地方

絹織物の産額の比較

(年三和昭)圓萬千五億五約額産年

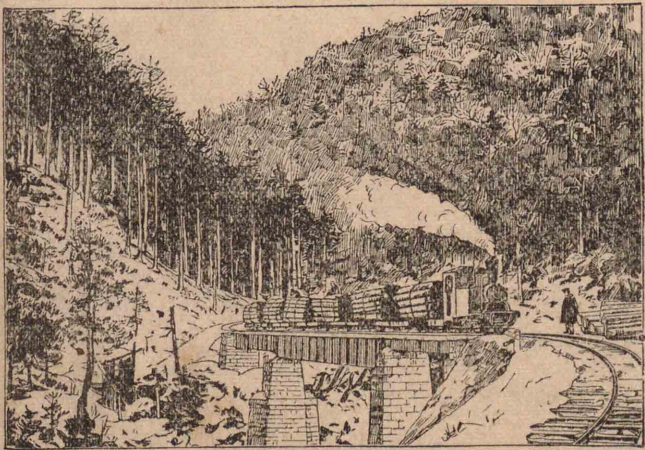
その他、静岡や輪島では漆器を製し、富山では賣藥

林業



名古屋の製陶工場

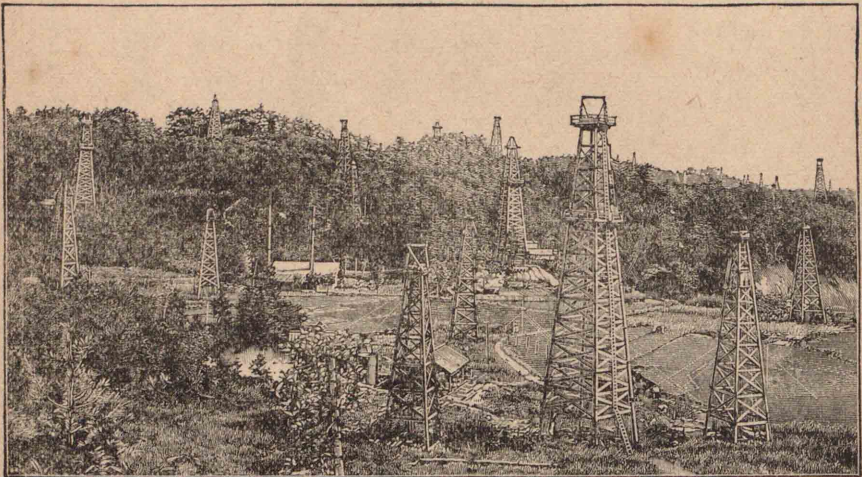
濱松では綿織物・楽器を製してゐる。又富士山の裾野の大宮附近にはあまたの製紙工場があつて洋紙を製造してゐる。中部地方で最も名高い林業地は木



木曾の森林と森林鐵道

尋地一

鑛業



曾川の上流流域の木曾谷である。こゝにはひのき・さ新はらなどの良材が多いの瀉で、これを伐出して各地に縣輸送する。この木材の主な集散地は名古屋である。油信濃川の下流の附近は秋田田附近と共に我が國での石油の主産地であつて、いたる處に油井の櫓が林の

やうに立並んでゐる。こゝから出る石油は主に柏崎・新潟にある製油所で精製される。その他の鑛産物の中、主なものは金で、主として佐渡鑛山から産する。

水産業

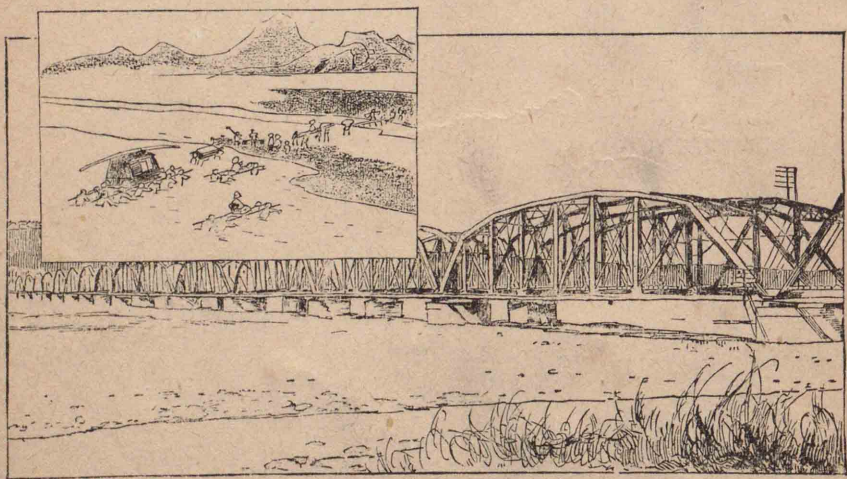
近海には漁業が一般に行はれ、殊に暖流が流れてゐる太平洋方面の近海、遠洋ではかつをの漁獲高が多く、静岡縣では盛にかつをぶしを製してゐる。

四 交通 ハツタツスルワケ

陸上の交通

中部地方は高山や急流が多いにかゝらず、その位置が近畿・關東兩地方の間にあるので、古くから

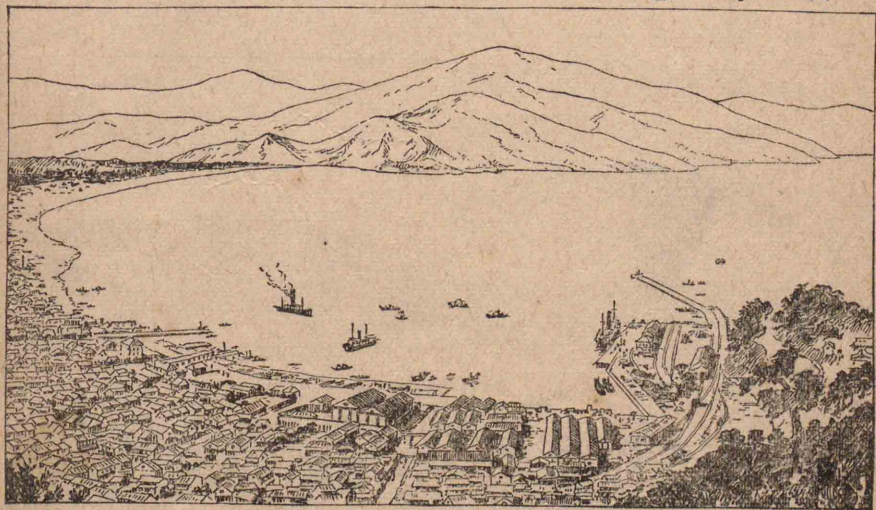
主要な街道が通つてゐる。さうして鐵道もほゞこれにそつて敷かれ、太平洋の沿岸には本州の鐵道の幹線である東海道本線があり、中央部には中央本線や信越本線がある。信越本線の北の一部分は日本海の沿岸を通つてゐる。なほ日本海の沿岸には北陸本線



大井川の今の鐵橋と昔の渡し

羽越本線がある。中央本線は名古屋で、北陸本線は米原で、東海道本線と連絡してゐる。又北陸本線は直江津で、羽越本線は新津で、信越本線と連絡してゐる。又上越線は長岡附近で信越本線と連絡してゐる。太平洋方面は産業が発達してゐるばかりでなく、名

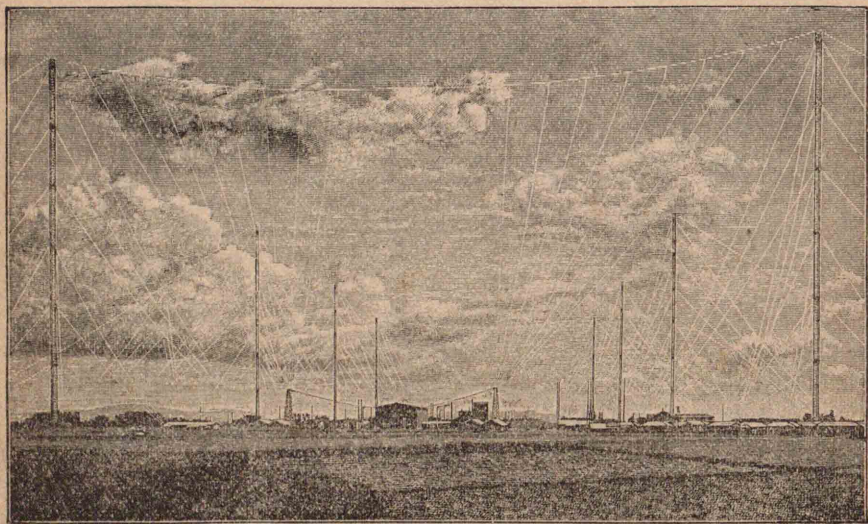
海上の交通



敦 賀 港

古屋・清水の二良港もあるから、海運の便が大いに開けてゐる。

日本海方面は良港が少く、太平洋方面ほど海運は便利でない。殊に冬季は波風が荒く、雨雪が多いから、海上の交通は困難である。しかし新潟・伏木・敦賀の諸港は、港の設



名古屋無線電信局の送信所

通信

備が大いにとつて来て、この方面での重要な港となつてゐる。その上、近頃、朝鮮の鐵道と滿洲の鐵道とが連絡したので、これらの諸港も頓に活氣を呈してきた。

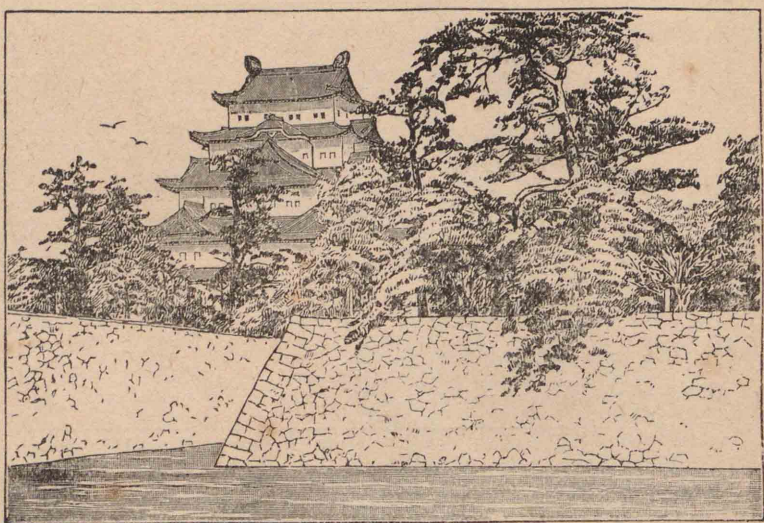
名古屋には無線電信局があつて、遠くヨーロッパと直接に通信してゐる。

五 都邑

この地方で都邑の多い處は、産業が盛で交通も便利な海岸地方の諸平地と、中央部にある盆地とである。

尋地一

太平洋方面  
の都邑



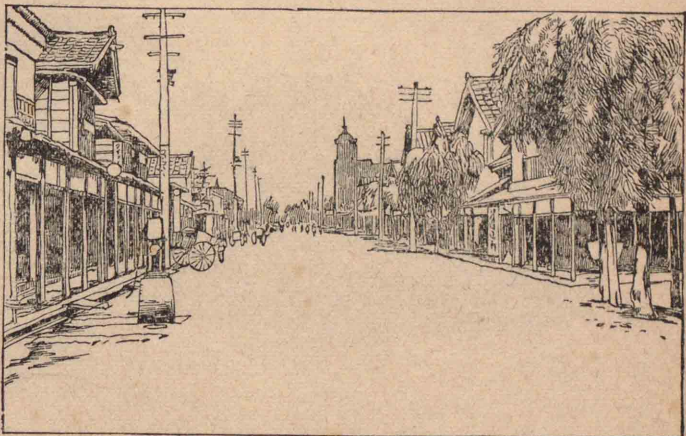
名 古 屋 城

が國第三の大都會で、海陸交通の要路に當り、商業

殊に太平洋の沿岸地方には縣廳の所在地たる静岡・名古屋・岐阜をはじめ、濱松・豊橋・岡崎・大垣など大きな都會が並んでゐる。中でも名古屋は濃尾平野の南部、伊勢海の北岸にあつて、人口九十一萬、東京・大阪に次ぐ我



日本海方面  
の都邑



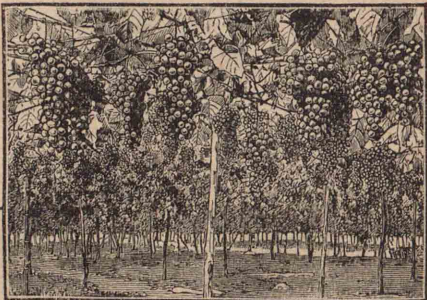
長岡の市街

も工業も發達してゐる。  
日本海の沿岸地方にある都  
會の中、新潟・富山・金澤・福井は  
縣廳の所在地で商業・工業が  
盛である。長岡・柏崎は石油業  
によつて、敦賀・伏木は海陸交  
通によつて發達した處であ  
る。

中央部の都  
邑

中央部の盆地にある主な都會は縣廳の所在地た  
る長野・甲府と松本とて、長野は善光寺があるの  
で

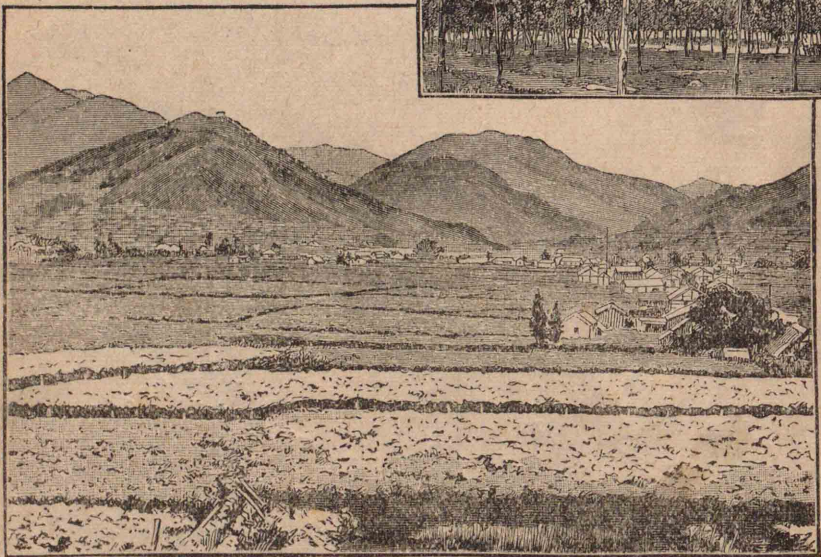
名高い處、松本  
甲府は製絲業  
の盛な處であ  
る。又甲府の附  
近ではぶだう  
を産する。



第五 近畿地方

一 區域

京都・大阪の二府と滋賀



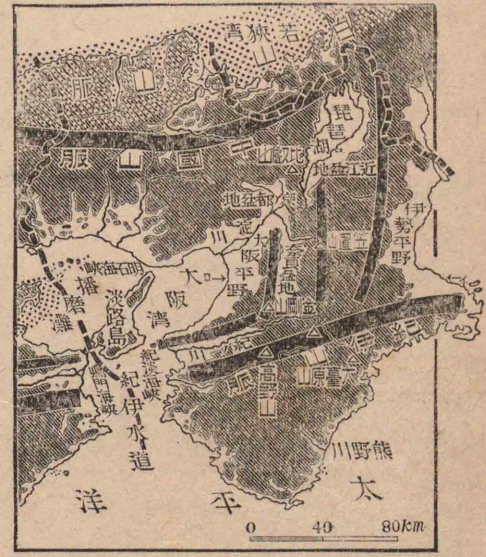
甲府附近のうだう

兵庫・奈良・和歌山・三重の五縣の區域を近畿地方といふ。

二 地勢

近畿地方は北西部と南部とに山地が多く、中央部には平地が多い。

北西部の山地は中國山脈の東の部分であつて、とりわけ目だつ高い山も大きい川もなく、大體が高原狀で、處々に盆地がある。これ等の盆地には産業



近畿地方の地勢と断面の略圖

北西部

山地一

南部

が發達してゐて都邑も多い。

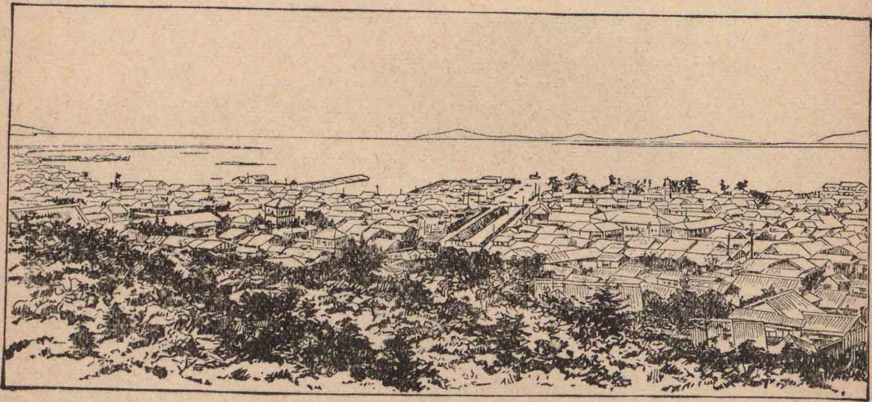
南部は東西に長い紀伊山脈のある處で、大體、高原狀であるが、北西部に比べると山は高く谷は深く、山上岳・大臺原山などのけはしい山がある。又この山脈には金剛峯寺があるので名高い高野山、史蹟と櫻とで名高い吉野山がある。又南の海岸の近くには那智瀧がある。南部の川はおほむね紀伊山脈から出てゐて、その主なものは南に流れる熊野川と、西に流れる紀川とである。紀川の沿岸には一帯の平地があつて、こ

中央部

の平地と海岸の地方は、産業が盛で交通の便も開け都邑も多い。その他は大てい山地で、産業も進まず交通も不便で都邑も極めて少い。

中央部にはいくつもの低い山脈が南北に連なつてゐて、その中には金剛山・笠置山など歴史に名高い山々がある。これ等の山脈の間には近江・京都奈良の諸盆地がある。又大阪灣と播磨灘の沿岸にはそれ／＼大阪平野と播磨平野があり、伊勢海の沿岸には伊勢平野がある。

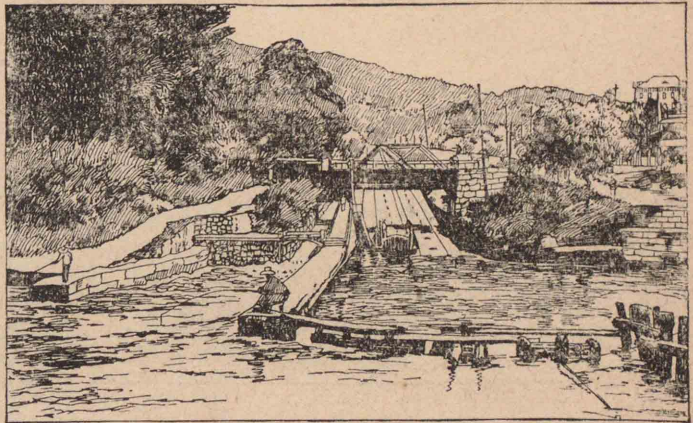
近江盆地には琵琶湖がある。我が國第一の大きな



琵琶湖と大津

湖であつて、灌漑の便が多く水産物も少くない。その沿岸各地には大津を起點として汽船が往來してゐる。又沿岸附近には處々に名勝の地がある。延暦寺があるのて名高い比叡山もこの湖の西岸にある。

琵琶湖の水は大津の南東から流れ出て淀川となり、京都盆地・大阪平野を過ぎて大阪灣には

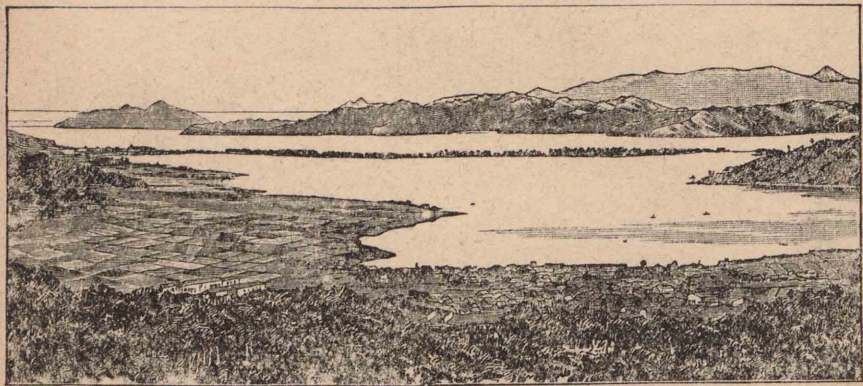


疏水運河のイラクニイ

水は大阪で、飲料水、用水として用ひられてゐる。中央部の諸平野は早くから開けて産業も發達し

いつてゐる。又大津から起つてゐる二條の疏水運河によつて西の方、山地をくゞり、平地を通つて流れ、京都で淀川の支流の賀茂川に合してゐる。この疏水運河も淀川も灌溉運輸發電に利用され、又疏水運河の水は京都で、淀川の

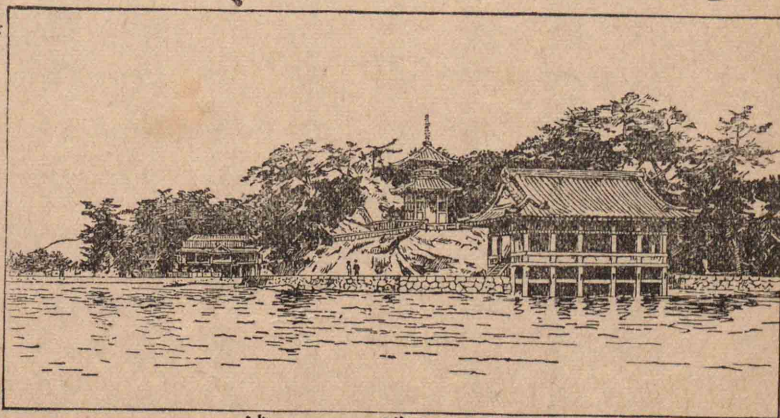
海岸



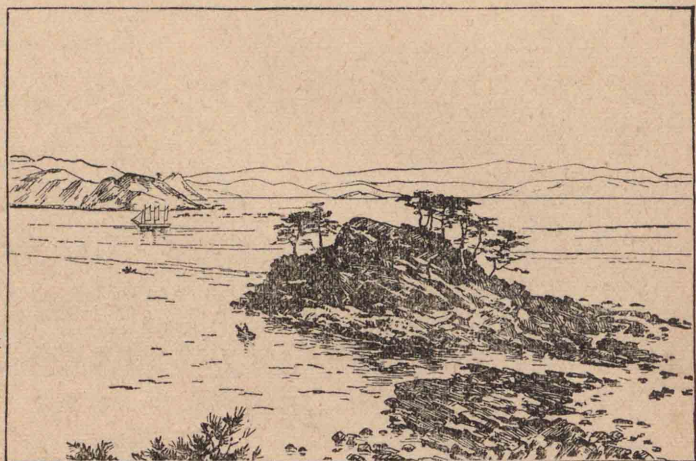
天橋立

交通も便利で、京都・奈良・大阪・神戸をはじめ都邑が甚だ多い。日本海の沿岸には小さな灣が多い。舞鶴灣には自然の良港があつて、海軍の要港となつてゐるものもある。その西にある宮津灣には一條の砂洲が長くつき出てゐて、松の林がその上をおほひ、風景が美しい。これがいはゆる天橋立である。

南部の海岸にも小さな灣が多く、主に漁港として利用されてゐる。紀淡海峡の近くには和歌浦の勝地がある。中央部の東には伊勢海が入りこんで、その沿岸に四日市があり、西には大阪灣が入りこんで、その沿岸に大阪・神戸の二大商港がある。大阪灣と播磨灘との間には淡路島があつて、本州



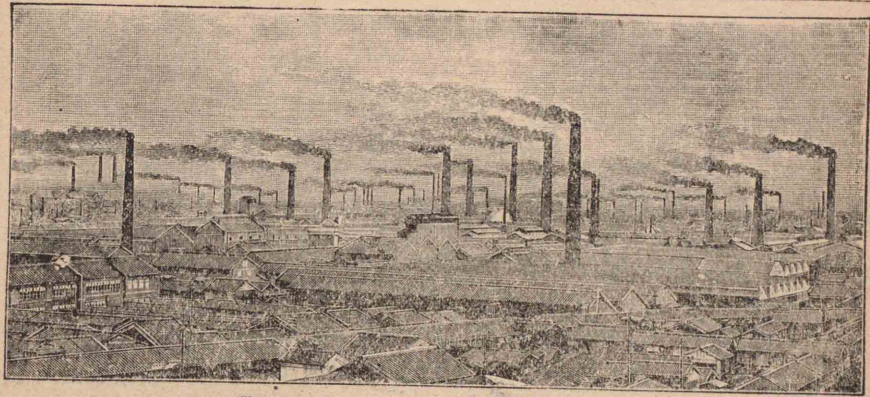
和歌浦



い。鳴門海峡は潮流が早いので名高い。

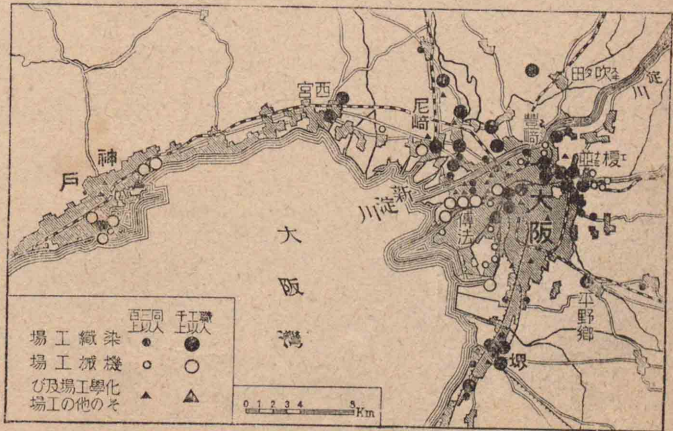
三 産業

鳴門海峡をはさみ、四國との間に鳴門海峡をはさんでゐる。明石・紀淡の兩海峡は交通の要路であつて船がたえず往來してゐる。明石海峡の北岸は松の立ちつゞいてゐる砂濱の景色が美しい。



大 阪 北 東 部 の 工 場 地 帯

中央部の諸平野では工業が大いに発達してゐる。殊に大阪湾沿岸の地方は我が國の一大工業地區であつて、**神戸・尼崎・大阪・堺**等の工業市



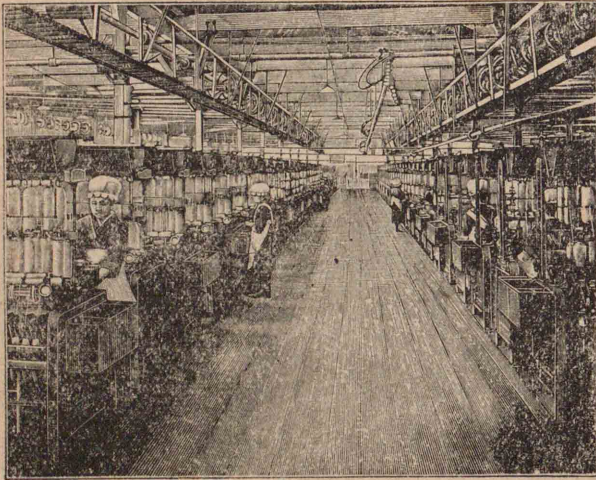
大 阪 湾 沿 岸 に 於 け る 工 場 の 分 布

綿 絲 の 産 額 の 比 較

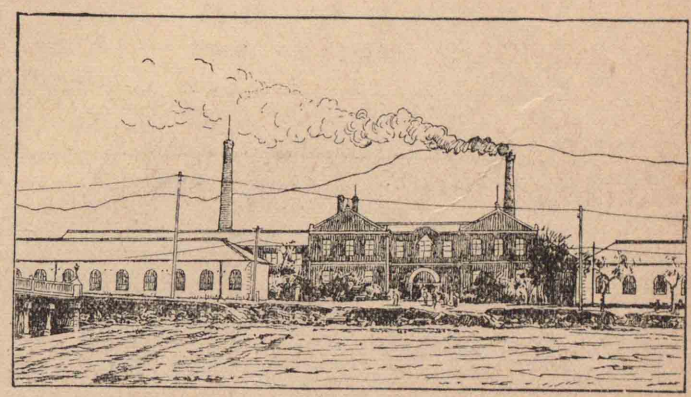
(昭和三年) 年産約五億七千萬圓

大 阪 府	兵 庫 縣	其 他 の 府 縣	愛 知 縣	其 他 の 縣	其 他 の 地 方
近 畿 地 方	兵 庫 縣 地 方	其 他 の 府 縣 地 方	愛 知 縣 地 方	其 他 の 縣 地 方	其 他 の 地 方

が相接してゐる。中でも大阪はいたる處に大きい工場があつて、**煙突**が林のやうに立並び、**煤煙**が空にみなぎつてゐる。この沿岸地方での主な工業品は綿絲、綿織物、毛織物、メリヤス、機械、砂糖、薬品、ゴム製品、肥料、マツチ等であつて、いづれも多量の産額があり、



大 阪 に 紡 績 工 場 の 内 部



場工物織絹の都京

物・陶器等の製造が盛で、いづれも品質が優れてゐる。又四日市・津和歌山では綿絲・綿織物の産額が多

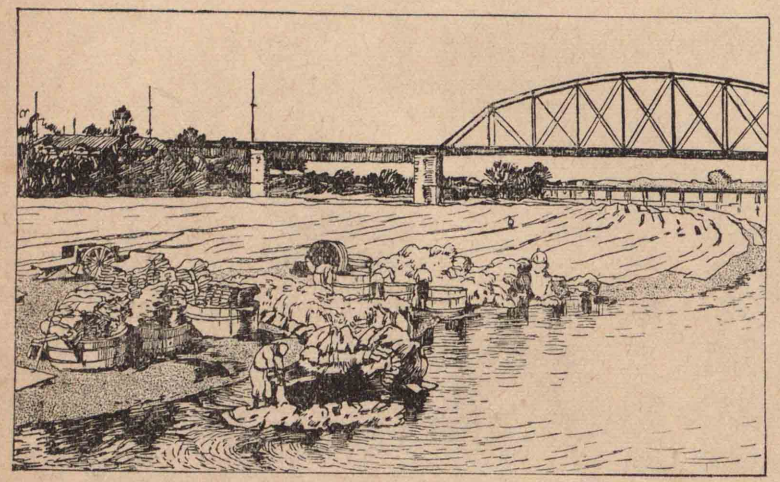
海外にも多く輸出される。したがって大阪・神戸では商業も極めて盛である。又京都では絹織物・染



部内の場工物織絹るあに近附都京

尋地一

農業・林業



場しらの綿木るけ於に流下の川紀

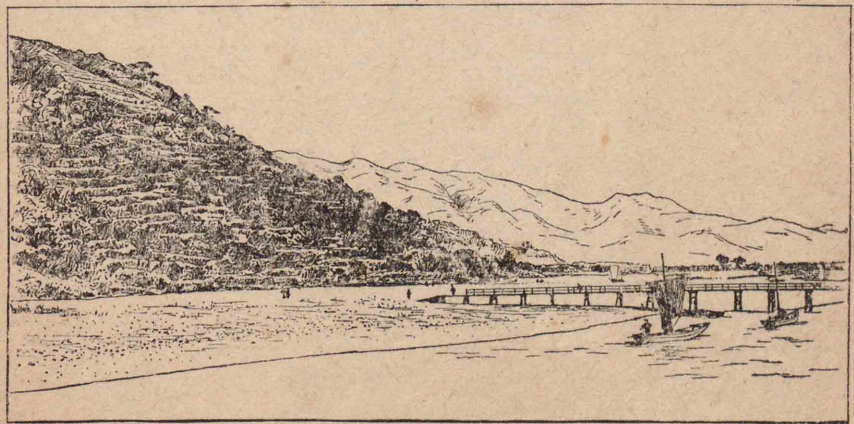
い。黒江では漆器を産する。大津附近では琵琶湖の水を利用して人造絹絲工業が盛である。中央部の諸平野では米・麥・菜種などが多くとれる。又紀伊水道の沿岸地方では處々で蜜柑を産する。中でも最も名高

他のそ 府の	他のそ 府の	縣知愛	他のそ 府の	府阪大
方地他のそ	方地他のそ	方地部中	方地畿近	

較比の額産の物織綿  
(年三和昭) 圓億八約額産年

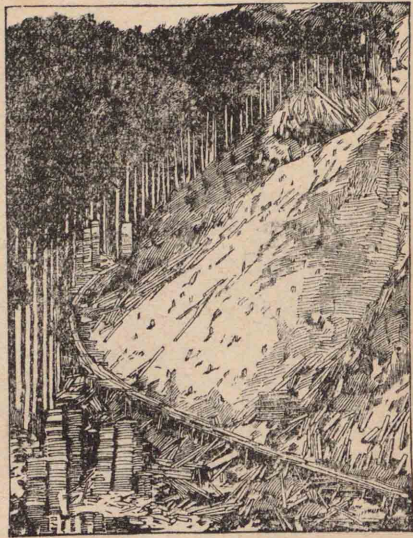
い産地は有田川の沿岸である。この蜜柑は内地の各地ばかりでなく朝鮮・満洲等にも送られる。

南部は氣候が暖かて雨が多いから樹木がよくそだつ。殊に紀川・熊野川の流域は杉の造林が盛であまたの良材を産し、熊野川流域のものは主として川によつて新宮に送



山柑蜜の岸沿川田有

水産業



木採の域流の流上川紀

鑛業



し流筏の流上川紀

られ、紀川流域のものは川又は鐵道によつて各地に送られる。

紀伊半島の近海は暖流が流れてゐて魚類が多いので水産業が盛である。又志摩半島の沿海の養殖眞珠は世界で名高いものである。

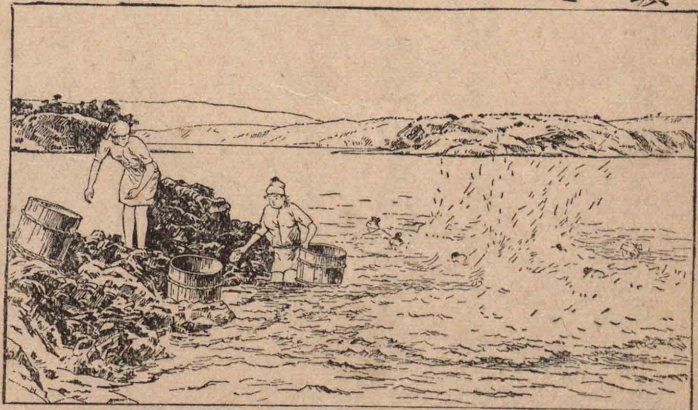
鑛山で名高いのは生野



鑛山で、こゝから出る銅銀の鑛石は瀬戸内海の直島なほしまで製鍊される。

#### 四 交通

近畿地方は關東地方と共に我が國で最も交通の發達してゐる處であつて、大阪・京都からは鐵道が四方に通じ、神戸・大阪からは航路が内外の諸港に通じてゐる。

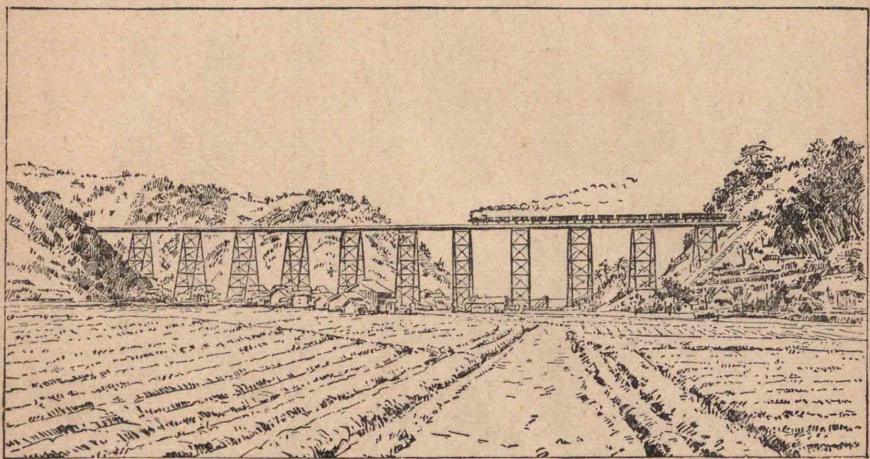


(島半摩志) 取採の貝母珠眞

陸上の交通

鐵道には本州の鐵道の幹線である東海道本線・山

尋地一



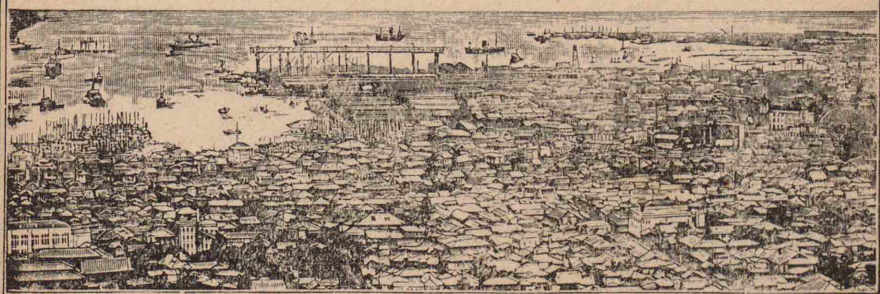
山陰本線の高架橋(餘部)

陽本線をはじめ關西本線・山陰本線・北陸本線等がある。

東海道本線は中央部の近江盆地・京都盆地及び大阪平野を通り神戸に至つて山陽本線に接續してゐる。山陽本線は神戸から西の方、姫路を過ぎ中國地方の瀬戸内海の沿岸を通つて下關しもせきに至る。東京・神戸間は約九時間、神戸・下關

間は約十時間の行程である。關西本線は大阪に起り奈良を過ぎ名古屋に至つて東海道本線と連絡する。山陰本線は京都に起り北西部の山地をへて中國地方の日本海沿岸を通つてゐる。北陸本線は米原で東海道本線と連絡する。

京都・大阪間、大阪・神戸間、大阪・奈良間及び京都・奈良間は汽車の



神戸の港

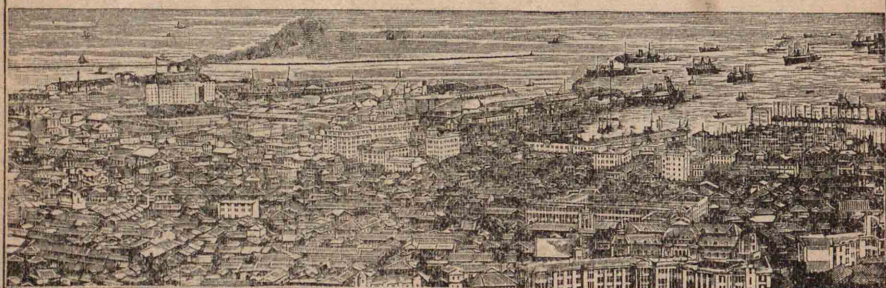
尋地一

海上の交通

外、電車もひんばんに往來し、交通が至つて便利である。

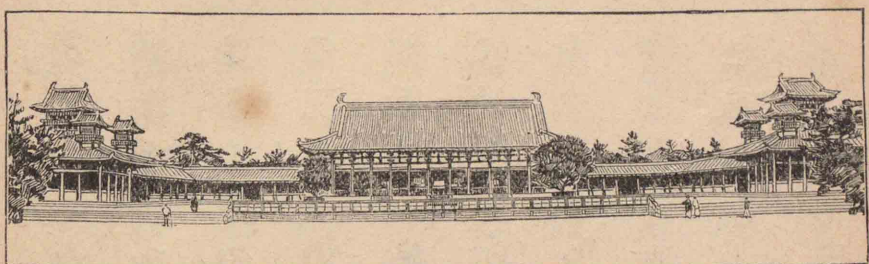
この地方の諸港の中、神戸・大阪の二港は内には瀬戸内海、その他、近海の航路の起點となり、外には支那・印度・ヨーロッパ・南北兩アメリカ洲・オーストラリヤ等、世界各地の港と航路が相通じてゐる。

五 都邑



の全の景

京都

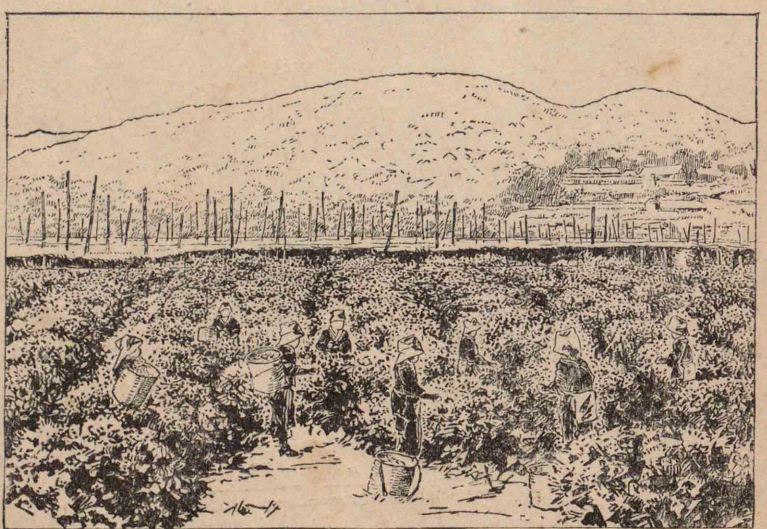


中央部の諸平野は神武天皇以來御歴代の皇居のあつた處だけに名所舊蹟が多く、又産業も極めて盛であつて、我が國で人口の最も密な處である。殊に大阪灣沿岸の工業地區に神はいくつもの大きい都會が相連な宮つてゐる。

京都は京都盆地の北部にあつて、東京との間は約七時間の行程である。人口は九十七萬、桓武天皇以來久し

尋地一

く帝都であつた處で、京都御所、二條離宮の外、平安神宮、北野神社、知恩院、東西兩本願寺をはじめ社寺や名所舊蹟が甚だ多い。又京都帝國大學及び各種の學校、博物館等があつて、我が國での學術の中心地となつて居り、美術工藝品の製作では、古來、國內第一と稱せ

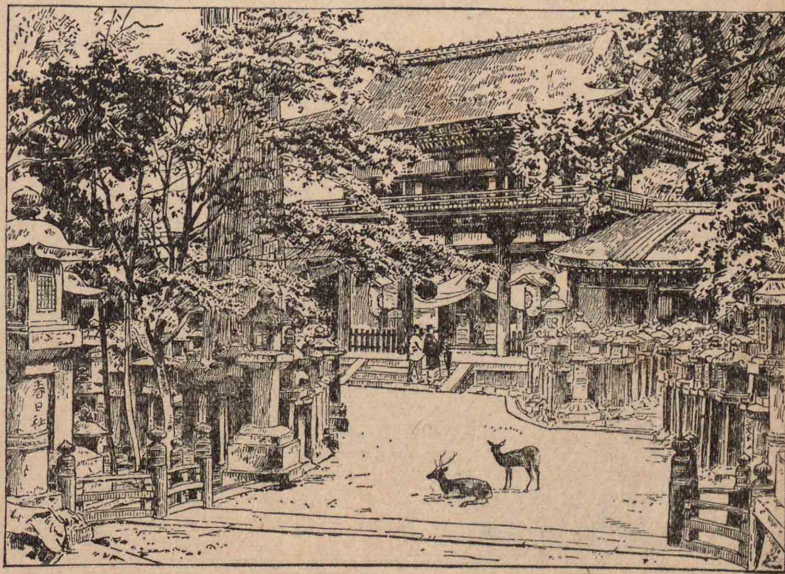


宇治の茶摘み

奈良

られてゐる。  
南部の桃山には明治  
天皇陵・昭憲皇太后陵  
がある。桃山の附近は  
名高い宇治茶の産地  
である。

奈良は奈良時代七十  
餘年の間帝都であつ  
た處で、奈良盆地の中  
心地である。正倉院・春日  
神社・東大寺など奈良時代

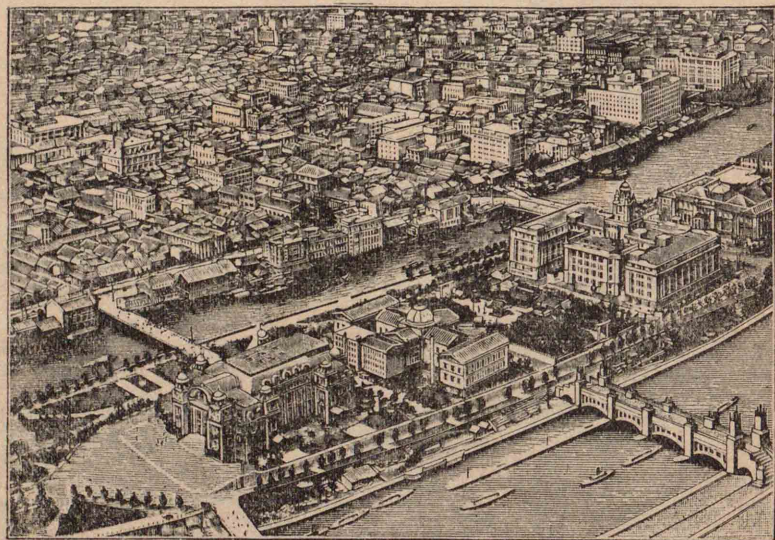


春日神社

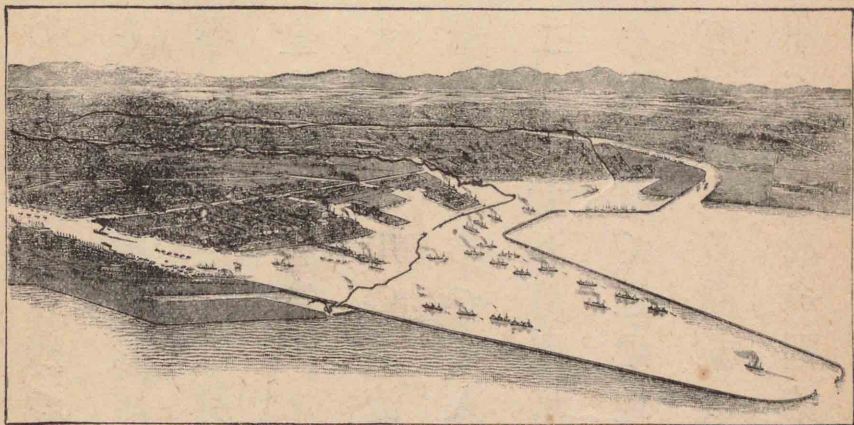
尋地一

大阪

のものが多く残つてゐ  
る。奈良の南西には法隆  
寺があり、南には神武天  
皇陵・橿原神宮がある。  
大阪は淀川の下流の沿  
岸平地にあつて、人口は  
二百四十五萬、東京に次  
ぐ大都會で、近畿地方以  
西に於ける商業の中心  
地であり、我が國第一の工業地である。



大阪の市街(中之島附近)

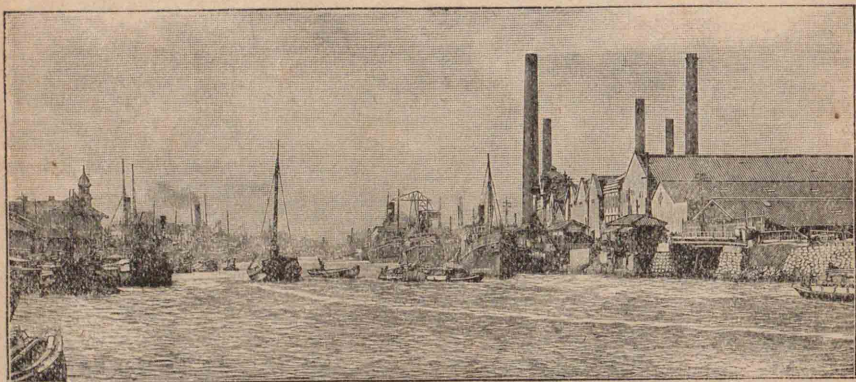


淀川の下流及びこれから分  
 れてゐる疏水運河が、市内を  
 縦横に通じて水運が便利で  
 あるから、水の都ともいはれ  
 てゐる。又港の設備がよくと  
 とのつてゐて大きい汽船も  
 港こゝに出入することが出来  
 る。したがつて交通も貿易も  
 年と共に發達し、綿織物の輸  
 出が甚だ多い。

尋地一

神戸

神戸は人口七十九萬、横濱と並  
 び稱せられる大開港場で、港の  
 設備がよくとゝのひ、出入する  
 汽船の數は横濱よりも多い。貿  
 易は横濱の場合と反對に輸入  
 が主で、その額は我が總輸入額  
 の凡そ五分の二を占めてゐる。  
 輸入品の主なものは繰綿・鐵毛  
 織絲・羊毛などである。繰綿は我  
 が國第一の輸入品であつて、ア



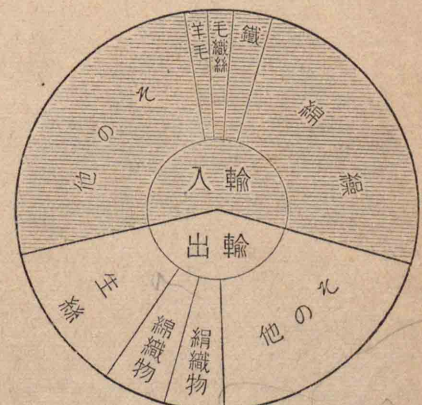
淀川の下流



その他

アメリカ合衆國・印度等からこゝに來るものが最も多い。輸出品の主なものはいは生絲・綿織物・絹織物などである。神戸は工業も盛んで造船所をはじめいろいろな大きい工場がある。

津・大津・和歌山は縣廳の所在地で、それとくその縣内の中心地になつてゐる。宇治山田は神宮の所在地で、姫路は播磨平野の中心地である。



神戸港輸出入比較圖  
 (昭和三年) 輸出額約六億三千萬元  
 (昭和三年) 輸入額約八億八千萬元

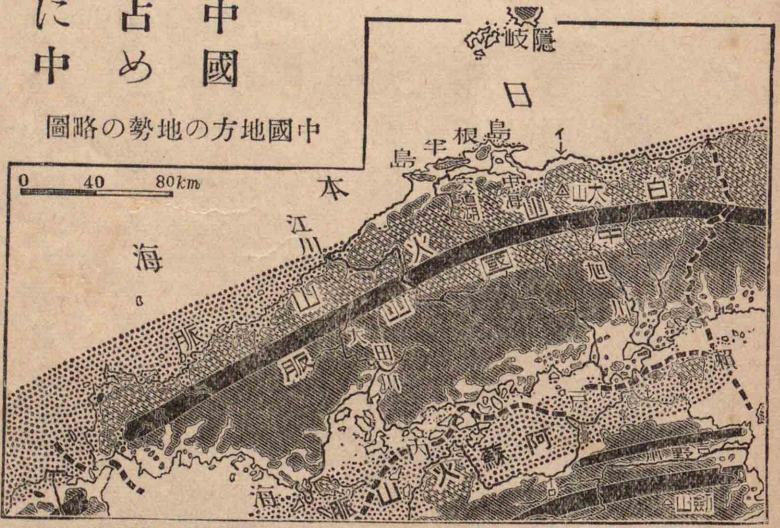
### 第六 中國地方

#### 一 區域

岡山・廣島・山口・島根・鳥取の五縣の區域を中國地方といふ。

#### 二 地勢

中國地方は高原狀の中國山脈がその大部分を占めて居り、平地が少い。殊に中國山脈の分水嶺が北にかたよつてゐる上に、これ



中國地方の地勢略圖

中國地方の断面圖

にそつて火山脈が通つてゐるの  
で、日本海方面は瀬戸内海方面に  
比べて平地がよほど少い。この火  
山脈中の大山は中國地方第一の  
高山である。

瀬戸内海方面には旭川・大田川な  
どがあつて、その下流の地方に小  
平地が開けてゐる。この方面の海  
岸地方は海岸線の出入が多く、近  
海にはたくさん島の島があつて、いたる處に良灣が



米子と大山

瀬戸内海方面

尋地一

日本海方面

あり、海上も波が静かであるから船の交通が甚だ  
便利である。港の主なもの下關・宇品・吳・絲崎・尾道  
である。又この海岸地方は北に中國山脈を負つて  
ゐるから氣候が温和である。したがつて産業も發  
達し都邑も多い。

日本海方面では江川の外、川はいづれも短く、又一  
般に沿岸の平地が少い。中央部には島根半島・夜見  
濱があつて、中海をかこみ、夜見濱の先端には境が  
ある。この外には港灣が甚だ少く、島も隱岐を主な  
ものとするに過ぎない。このやうな地勢である上

に冬季、雨雪が多く波風も荒いので、海上の交通は不便をまぬがれない。したがって瀬戸内海方面に比べると産業も進まず都邑も少い。

三 産業

日本海方面では農業・牧畜が産業の主なものである。瀬戸内海方面では商業・工業が主な産業であるが、農業・牧畜に於いても日本海方面よりも盛である。

農業・牧畜

農産物の中、米は最も主なもので、多く瀬戸内海方面に産する。牧畜は牛が主で、殊に盛な處は廣島・岡

尋地一

工業・鑛業

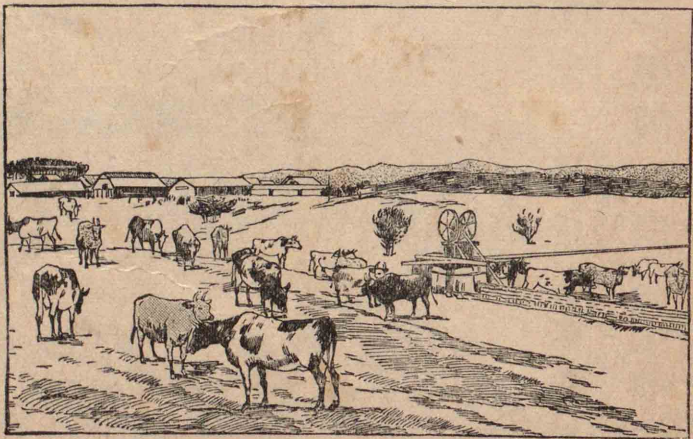
牛の頭数の比較 (昭和三年) 總數約三百四十四萬頭

朝鮮地方	九州地方	臺灣地方	中國地方	近畿地方	その他地方
------	------	------	------	------	-------

山の二縣である。  
 岡山・福山など、瀬戸内海沿岸の各地では工業が発達してゐて、綿絲・綿織物・疊表・花筵等を多く産する。鑛産物には宇部附近の石炭、各地の花崗岩がある。

水産業

海岸地方には漁業に従事する者が多く、中には朝

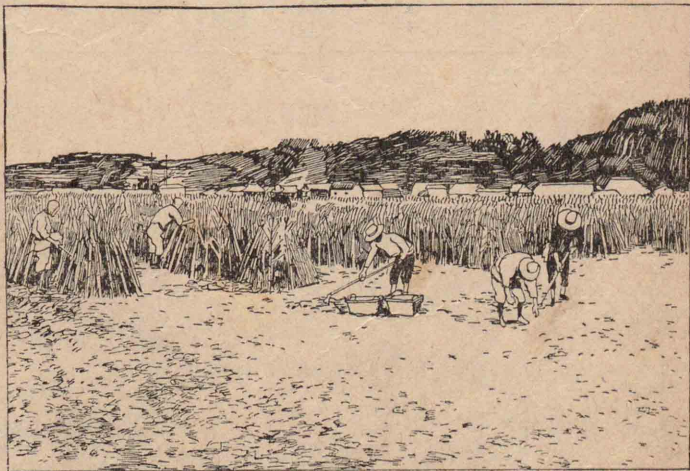


牛の牧場 (廣島縣にあり)



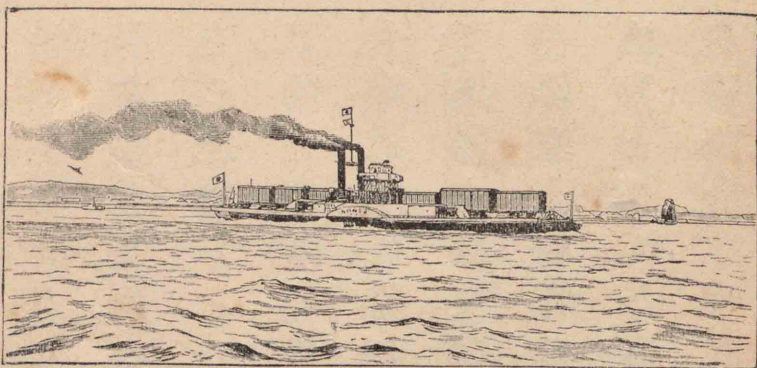
鮮近海に出漁する者も少くない。水産物は主として下關で集散され、その中、産額の多いのは山口縣の鯛である。隱岐のするめ、廣島灣のかきも中國地方で名高い水産物である。

瀬戸内海の沿岸は、日本海方面から來る濕氣が中國山脈によつてさへぎられ、太平洋方面から來る濕氣が四國山脈によつて



廣島灣のきの養殖

尋地一



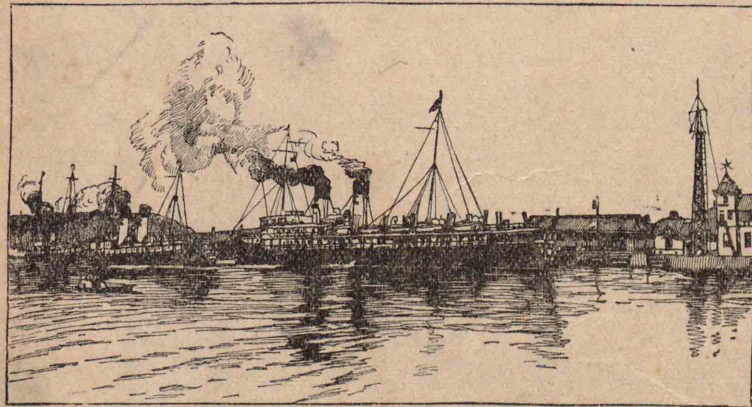
下關海峽の貨車航送船

さへぎられるので、雨量が少く晴天の日が多いから、砂濱は處處塩田に利用され、我が國での主な製塩業地となつてゐる。

#### 四 交通附瀬戸内海の交通

瀬戸内海の沿岸には本州の鐵道の幹線の一部である山陽本線があつて、岡山・廣島など、この方面の主な都會を通つてゐる。その西端に當る下關と、下關海峽をへだて、これ

と相對してゐる九州の門司との間には鐵道連絡船がひんぱんに往來して、山陽本線と九州の鐵道の幹線との連絡をとつてゐる。下關と朝鮮の釜山との間にも鐵道連絡船の往來があつて、山陽本線及び九州の鐵道の幹線と朝鮮の鐵道との連絡をとつてゐる。片道に要する時間は九時間内外である。



(港關下) 船 絡 連 釜 關

日本海方面の交通

岡山の南にある宇野と四國の高松との間にも鐵道連絡船が往來してゐる。

日本海方面の海岸には山陰本線があつて、鳥取・米子・松江等の主な都會を通つて下關に達してゐる。又この鐵道は山陽本線とも處々で連絡してゐるので、この方面の陸上交通はよほど便利となつたから、産業も今後一段の發達をなすであらう。

瀨戸内海は近畿・中國・四國・九州の四地方にかこまれ、古來、我が國に於ける海上交通の要路で、東には神戸・大阪、西には門司・下關など國內有數の開港場

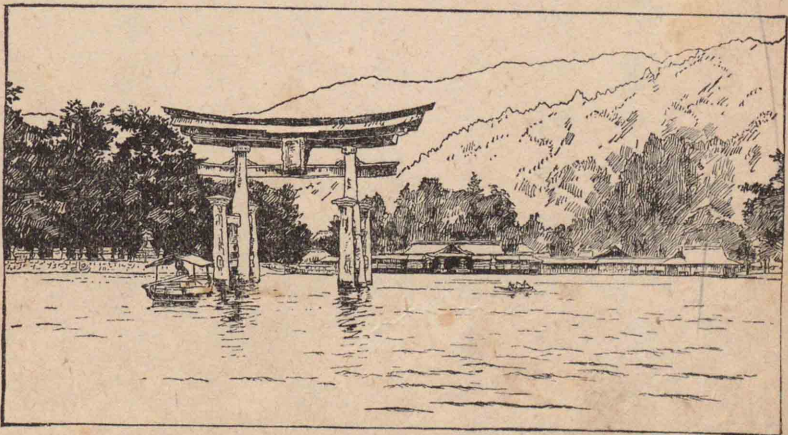
瀨戸内海の交通・風景

をひかへてゐるので、内外國の汽船がたえず往來してゐる。

海上には大小無数の島が散在してゐて景色がよいので、海の公園といはれてゐる。島の中、廣島灣内の嚴島は嚴島神社があるので名高い。

五 都邑

瀬戸内海の沿岸地方は産業が發達し交通が便利



社 神 島 嚴

面瀬戸内海方

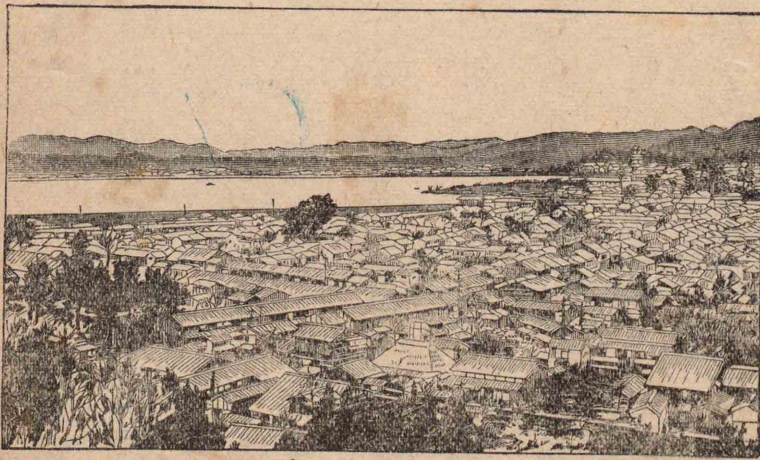
であるから、都邑もしたがつて多い。その主なものは縣廳の所在地たる岡山、廣島、山口と福山、尾道、吳、宇部、下關である。

岡山は旭川の下流の平地にあつて、交通の要路に當り、商業も工業も發達してゐる。廣島は大田川の下流の平地にあつて、宇品港をもつてゐるので海陸の交通が便利で、商業も盛であり、人口が二十七萬、中國地方第一の都會である。吳は軍港によつて發達した處で、兵器艦船を製造する海軍の工場がある。下關は門司と共に瀬戸内海の門戸になつて

日本海方面

ゐる處で、交通が便利で商業が盛である。日本海の沿岸地方では鳥取と宍道湖に臨んでゐる松江とが主な都會で、いづれも縣廳の所在地である。なほこの方面には米子及び大社がある。米子は商業地で、大社は出雲大社のある處である。

第七 四國地方



松江

尋地一

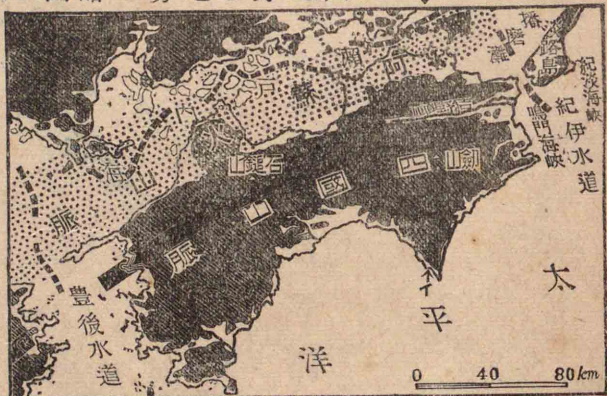
山川

一 區域  
徳島・香川・愛媛・高知の四縣の區域を四國地方といふ。

二 地勢

四國地方は山地が多くて平地が甚だ少い。主な山脈は四國山脈で東西に走り、劔山・石鎚山などの高山がその中にある。川は大ていこの山脈から出てゐる。最も大きいのは吉野川で、四國山脈にそつて東に流れ紀伊水道にはいる。

四國地方の地勢の略圖



四國地方の断面略圖

海岸

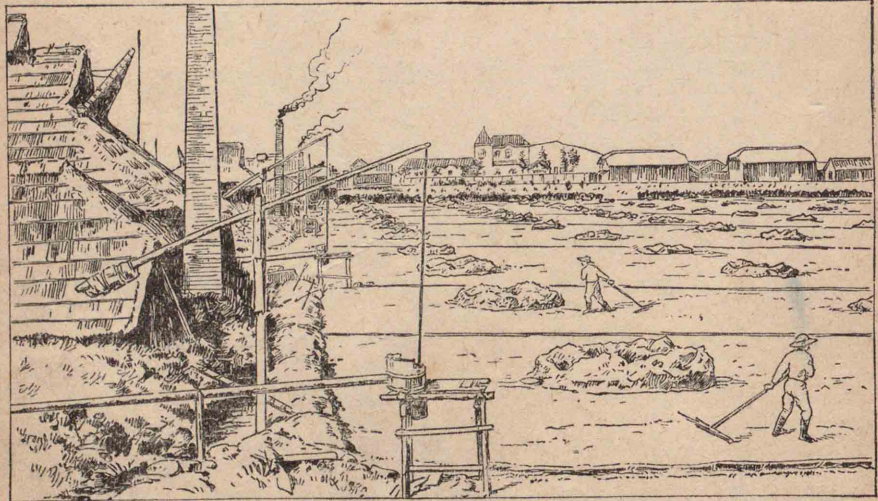
この川の下流の徳島附近、瀬戸内海方面の高松、松山附近、太平洋方面の高知附近等にある諸平野は山の多い四國地方での主な産業地であり、且これ等の地方は交通も便利であるから都邑が發達してゐる。  
瀬戸内海方面や豊後水道方面には灣が多く、又その近海には島が多い。したがつて港として利用される良灣が少くない。

三 産業

太平洋方面は北の四國山脈と近海の暖流との影

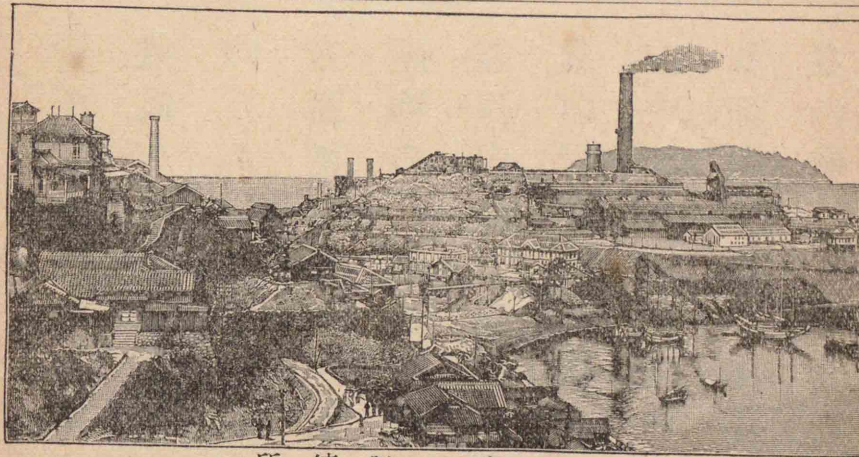
林業・水産業

響で、瀬戸内海方面よりも氣候が一層暖かく、雨量がゆたかである。それ故、この方面では樹木が繁茂し、林産物の産額が少くない。  
瀬戸内海方面の砂濱は處處塩田に利用されてゐるが、中でも香川縣の沿岸は我が國で塩の産額の最も多い處である。又鳴門海峡



香川縣の塩田

鑛業その他



四 阪 島 の 製 錬 所

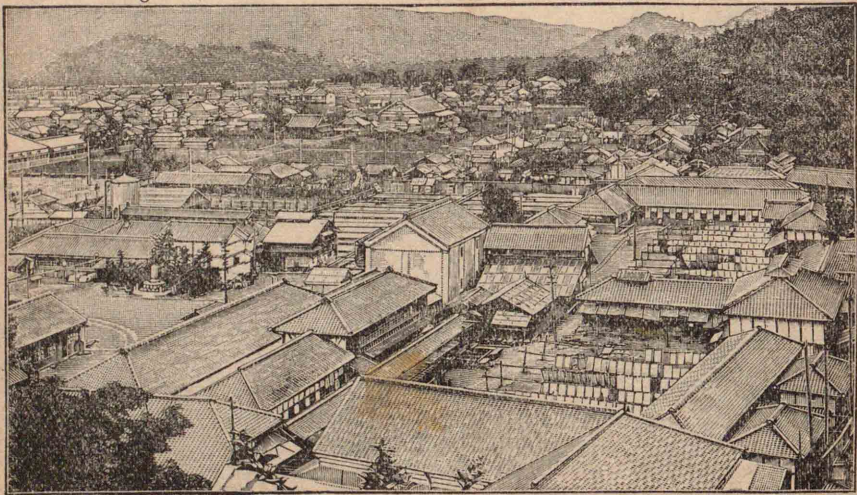
の沿岸も製塩業地として知られてゐる。

四國地方の近海は一般に漁業が盛である。殊に太平洋方面の近海ではまぐろ・かつをがたぐさんとれる。高知縣のかつをぶしは四國地方での名高い水産製造物である。

四國山脈の中にある別子鑛山は日立足尾・小坂と並び稱

尋地一

せられる大鑛山であつて多く銅鑛を産し、その鑛石は瀬戸内海の四阪島で製錬せられる。高知縣・愛媛縣では各地でみつまたやかうぞを原料として和紙を製造してゐる。高知とその西にある伊野は和紙の主産地である。この外、松山・今治・徳島では

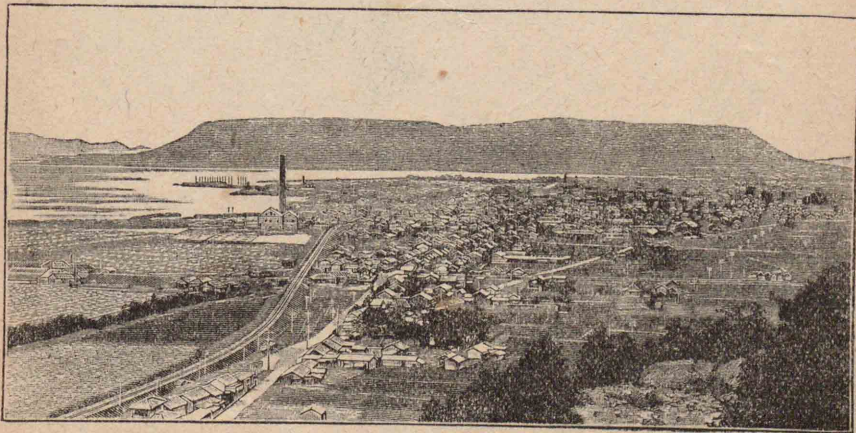


伊 野 の 製 紙 工 場

綿織物を産する。

#### 四 交通

四國地方の主な鐵道は瀬戸内海の沿岸と、吉野川の下流の沿岸を通るものである。瀬戸内海沿岸の鐵道は高松・多度津・今治・松山など、主な都會を通り、これと山陽本線との連絡をとるため、高松と宇野との間には鐵道連絡船が往



高松港

尋地一

來してゐる。又多度津から琴平方面に向ふものは、南の方、山地を超えて吉野川沿岸の鐵道と連絡してゐる。

海岸はいたる處に港があつて、互に航路を通じてゐるばかりでなく、大阪・神戸をはじめ中國・九州の諸港ともひんばんに船の往來が出来るので、海上の交通は極めて便利である。

#### 五 都邑

都邑は主として海岸の平地に發達してゐる。中でも高松・徳島・高知・松山は大きい都會で、いづれも縣

廳の所在地である。殊に高松は交通上の要地で商業も盛である。その附近には多度津・丸龜・琴平など都邑が多い。琴平は金刀比羅宮があるので名高い。松山は近くに三津濱・高濱の二港があつて、その間の連絡が便利であるから、商業・工業が盛である。その東にある道後<sup>だご</sup>は温泉地として知られてゐる。なほ豊後水道の沿岸にある宇和島<sup>うわじま</sup>、瀬戸内海の沿岸にある今治もこの地方での主な都邑である。

第八 九州地方

尋地一

一 區域

九州地方とは九州島及びその近海の島々と琉球列島とをふくむもので、福岡<sup>ふくおか</sup>・佐賀<sup>さが</sup>・長崎<sup>ながさき</sup>・熊本<sup>くまもと</sup>・鹿兒島<sup>かごしま</sup>・宮崎<sup>みやざき</sup>・大分<sup>おおひた</sup>・沖繩<sup>おきなほ</sup>の八縣の區域をいふのである。

二 地勢

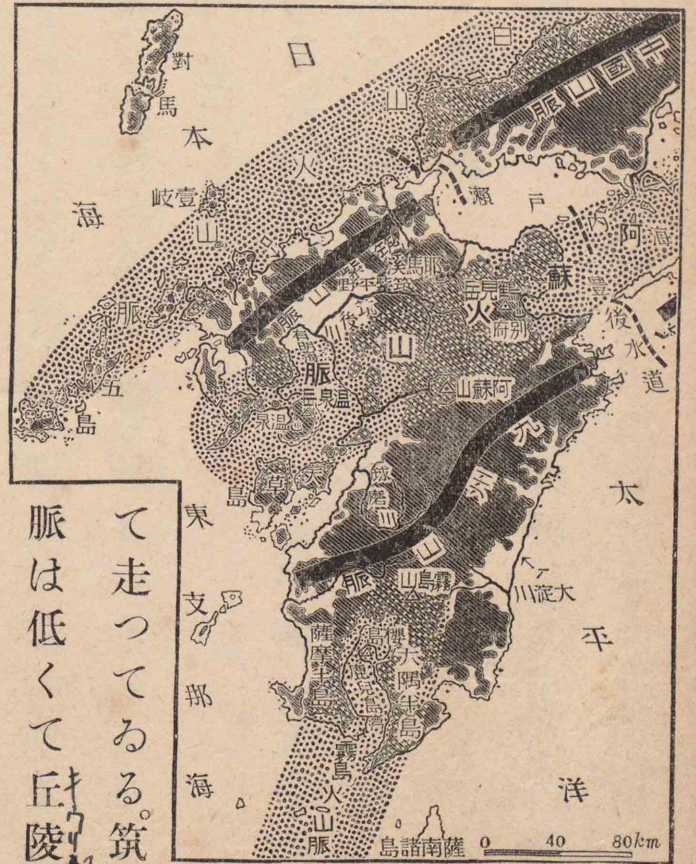
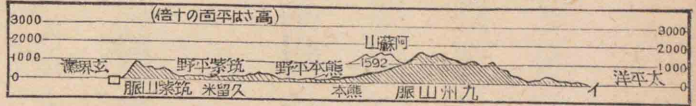
九州島の大部分は山地であるが、海に近い部分には處々に平地がある。海岸線は出入が極めて多く、近海は島が多い。

中國山脈のつゞきの筑紫山脈は九州島の北海岸にそつて走り、四國山脈のつゞきの九州山脈は中

山



九州地方の地勢と断面の略図



多く、又處々で平地に横ぎられてゐるが、九州山脈は高くして一帯の山地をなし、本島の主な分水嶺に

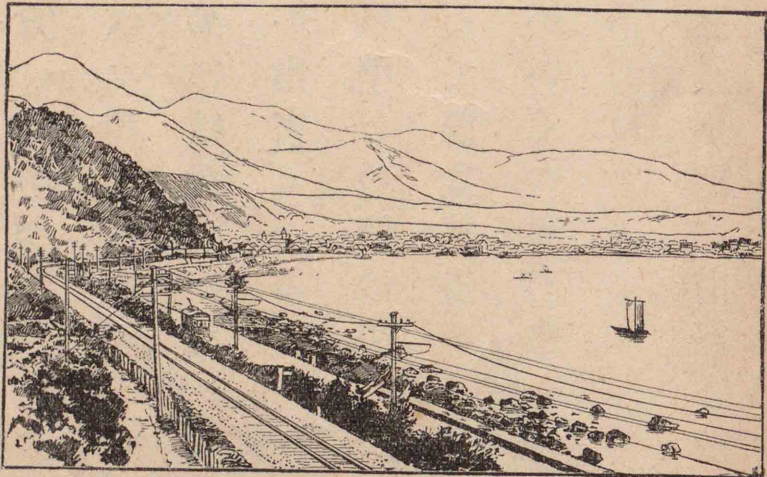
部の東海岸から南西に向つ

て走つてゐる。筑紫山脈は低くて丘陵地が

尋地一

なつてゐる。

この二つの山脈の間には東西に阿蘇火山脈が通つてゐて、その中に鶴見岳・阿蘇山・雲仙岳などの火山があり、又別府・雲仙などの温泉地や耶馬溪の名勝もある。阿蘇山は高さは約一千六百メートルに過ぎないが、阿蘇火山脈の主峯であつて、元の火口は東西十



別府と鶴見岳



八キロメートル、南北二十四キロメートル、諸外国にも例のない大火口である。今ではその火口が埋阿まつて、中央部には新しい數個の火口丘が出来てゐる。これと元の火口壁との間は平地になつてゐて、農業・牧畜が行はれ、都邑がいくつも出来てゐる。

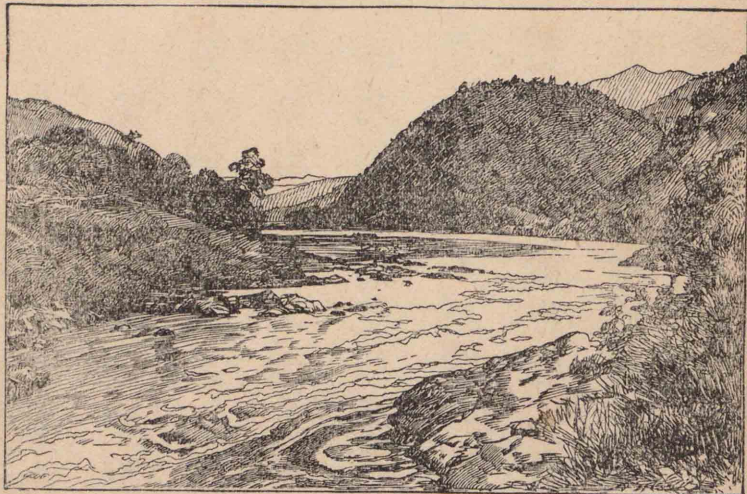
霧島火山脈は九州島の南部を南北



阿蘇山の断面の略圖

尋地一

川・平地



川 磨 球

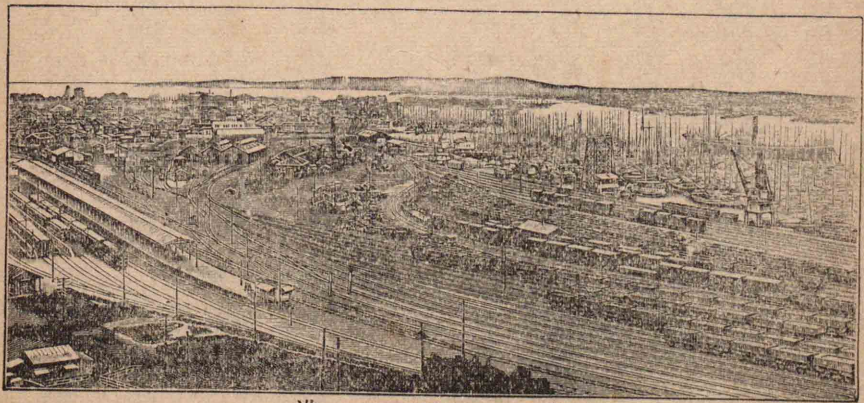
に通つてゐて、その中に霧島山・櫻島などの火山がある。この火山脈は更に南へのびて、薩南諸島につゞいてゐる。

主な川は西に流れる筑後川・球磨川・川内川、東に流れる大淀川などである。いづれも水運には不便であるが、灌漑・発電には利用されてゐる。

海岸

これ等の中、筑後川は最も大きく、その流域から有明海の北岸にかけては筑紫平野と呼ばれる広い平地があり、又その南には熊本平野がある。この兩平野は九州地方での主な農業地となつてゐる。

北西部の海岸即ち日本海・東支那海の沿岸は海岸線の出入が極めて多く、いたる處に天然の

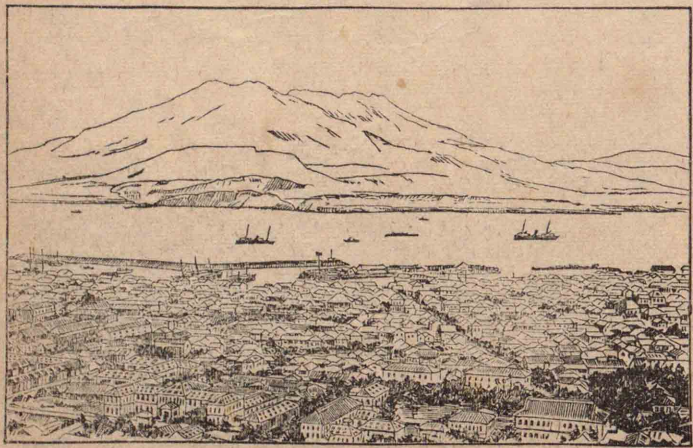


若松港

尋地一

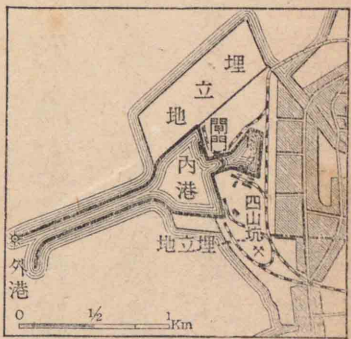
良港がある。門司・若松・博多・長崎の諸港はいづれも國內屈指の商港であり、佐世保は重要な軍港である。

又瀬戸内海沿岸の別府灣には別府があり、南部の大隅薩摩の二半島にかこまれた鹿兒島灣の西岸には鹿兒島がある。有明海の沿岸は遠淺である上に潮の干満の差が大きいので、特別の設備のある



鹿兒島と櫻島

近海の島



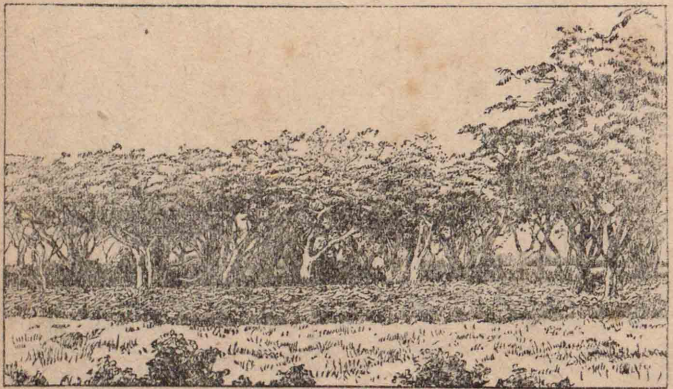
三池港の圖

三池港をのぞいては沿岸に自然の良港が少い。近海の島々の主なものは北西の壹岐・對馬、西の五島諸島・天草諸島、南の薩南諸島である。壹岐・對馬は九州島と朝鮮半島との間にあつて、日本海と東支那海との境になつてゐる。對馬と朝鮮半島との間には朝鮮海峡があり、對馬と壹岐との間には對馬海峡があつて、兩海峡とも交通上、大切な處である。薩南諸島は琉球列島と共に一系の列島をなし、九州島と臺灣島との間に連なつてゐる。

三 産業

農業・林業・牧畜

九州島は氣候が暖かて米・麥とつまいも・菜種等の農産物がたくさんとれる。殊に筑紫平野・熊本平野は米の主産地である。又筑紫平野ではほぜの實、鹿兒島縣では煙草を産する。中部・南部の山地では木材が多く伐出され、處々で木炭が製造



はの木の林

鑛業

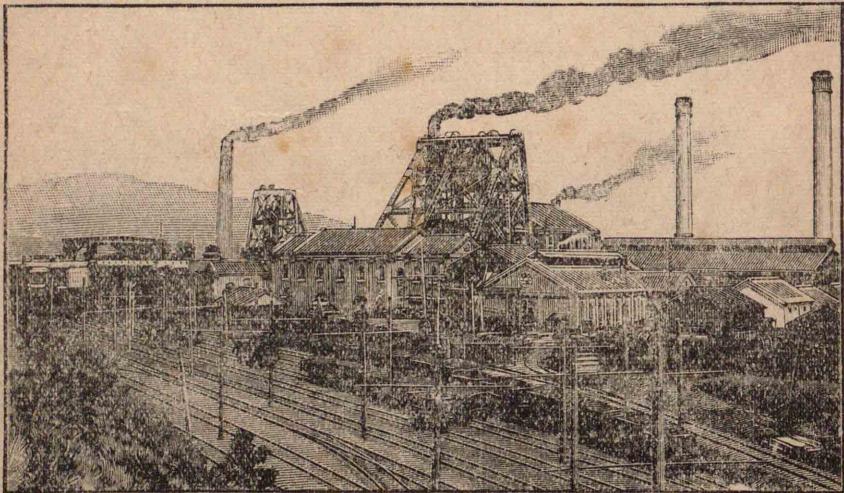
石炭の産額の比較  
(昭和三年) 年産約三千七百萬噸

方地	他のその方地	福 岡 縣		
		九 州	地 方	北 海 道
方地	他のその方地			

される。又九州島は一般に牛馬の飼養が行はれ、殊に阿蘇山や霧島山の裾野などでは馬の牧畜が盛である。鑛産物の最も主なもの石炭で、これに次ぐのは金銅である。石炭の産額の最も多いのは福岡縣で、我が國の總産額の半ばを産してゐる。これに次ぐのは長崎・佐賀の二縣である。このやうに福岡縣で石炭の産出の多いのは、同縣の遠賀川流域に筑豊炭田、有明海沿岸に三池炭田があ

尋地一

るからである。筑豊炭田から出る石炭は主として若松門司の二港から、三池炭田から出る石炭は主として三池港から、内外各地に積出される。大分縣・鹿兒島縣は我が國での金の主産地であつて、處々に金山がある。金の製鍊高の殊に多いのは大分

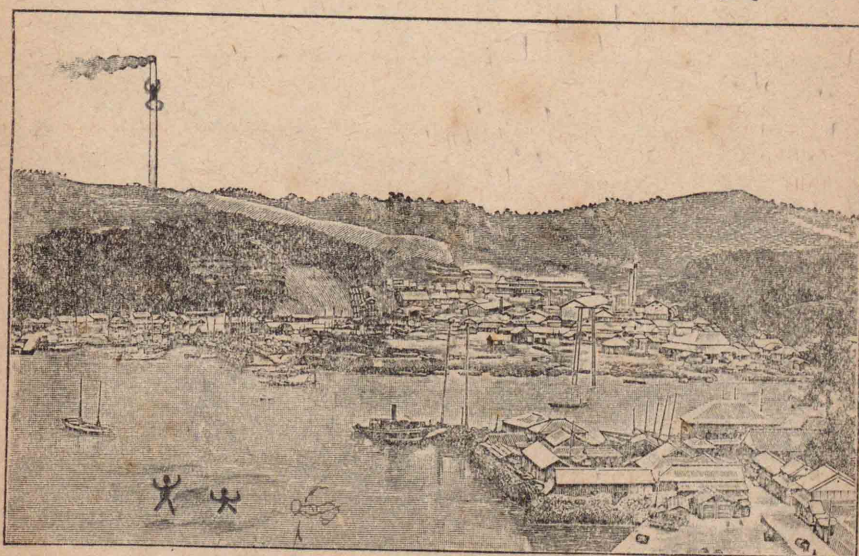


三池炭田の一大炭坑(萬田)

縣の佐賀關、鯛生、鹿兒島縣の串木野である。佐賀關では銅も多く製鍊せられる。

北部は海陸の交通が開けて工業原料の輸入、製品の輸出共に便利であり、又石炭の供給が甚だたやすいから、各地に工業が発達してゐる。殊に

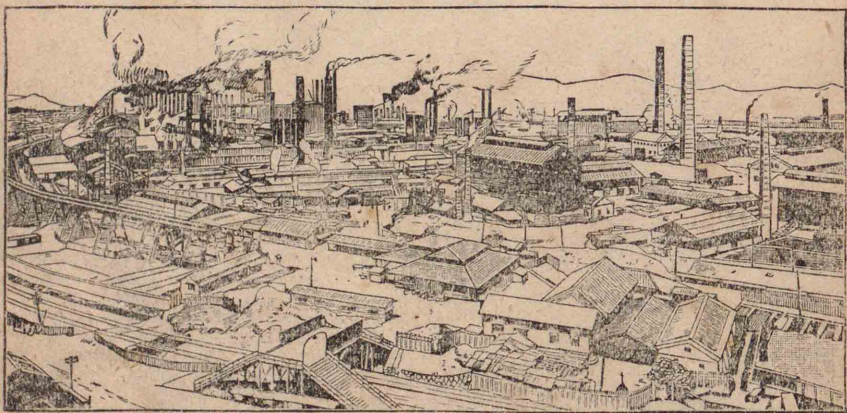
工業



佐賀關製鍊所

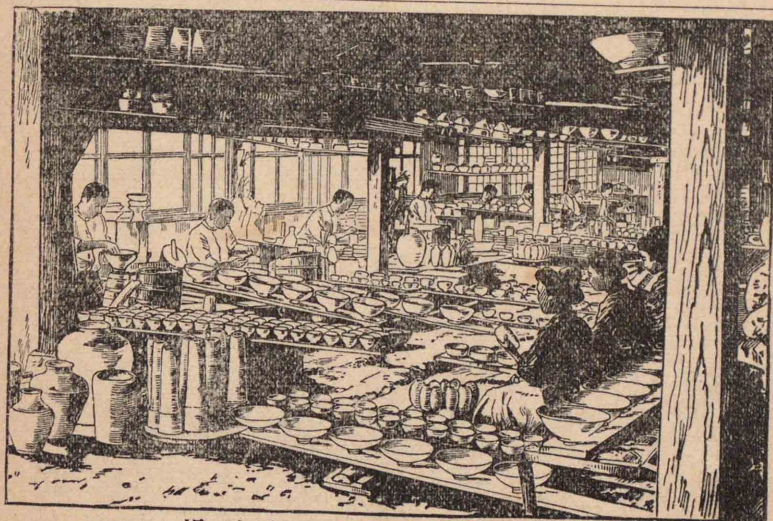
尋地一

下關海峽の沿岸から西の方、洞海くわうかいの沿岸に至る一帯の地はあまたの大工場があつて、我が國の一大工業地區をなしてゐる。製品の主なものは鐵、セメント、砂糖等で、中でも鐵は主に八幡はちだんにある製鐵所で製せられ、その産額は我が國の總産額の過半を占めてゐる。この製鐵所で原料に用



八幡に製鐵所

水産業



有田の陶器製造場

ひる鐵鑛は朝鮮・支那・マレー半島等から運ばれるのである。

この外、有田の陶器、長崎の汽船、久留米の緋、熊本縣の肥料、大分縣の疊表も名高い工業品である。

近海では一般に漁業が盛である。漁獲物の主なものは北西部の鯛、いか、南部のかつを、いかは長崎縣で

尋地一  
尋地一

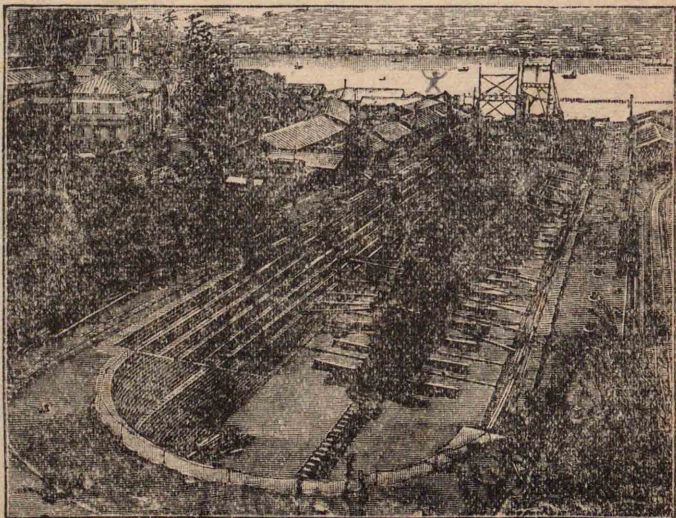
陸上の交通

するめに製造され、かつを  
は鹿兒島縣でかつをぶし  
に製造される。

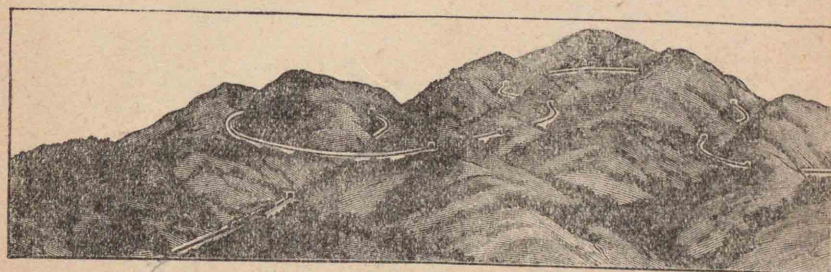
四 交通

九州の鐵道は門司を主な  
起點として各地に通じ、門  
司・下關間を往來する鐵道  
連絡船によつて山陽本線

と連絡する。九州の鐵道の幹線は鹿兒島本線と長  
崎本線とで、鹿兒島本線は西の方、小倉・福岡を過ぎ、



長崎の造船所



九州山脈を横ぎる肥薩線の一部

鳥栖、熊本をへて、本島の西海岸にそつて鹿兒島に至り、長崎本線は鳥栖から西の方、佐賀をへて長崎に至る。いづれも我が國に於ける鐵道の幹線の一部分である。

この外、主な鐵道には東海岸地方の都會を通つてゐる日豊本線、九州山脈を横ぎつてゐる肥薩線、阿蘇火山の元の火口を横ぎつてゐる豊肥本線がある。鹿兒島本線と日豊本線と

海上の交通

は、九州島の一周線となつて居り、豊肥本線は中部の横斷線となつてゐる。

又北部の工業地區や筑豊炭田には、鹿兒島本線及び日豊本線に連絡するあまたの鐵道があつて、陸上の交通が殊に便利である。

北西部の海岸は良港が多い上に、その位置が世界交通の要路に當つてゐるから、海上の交通は甚だ便利で、門司、若松、長崎の諸港には内外國の汽船が多く出入する。中でも門司は瀬戸内海の關門になつて居り、又石炭の供給地であるから、汽船の出入



通信

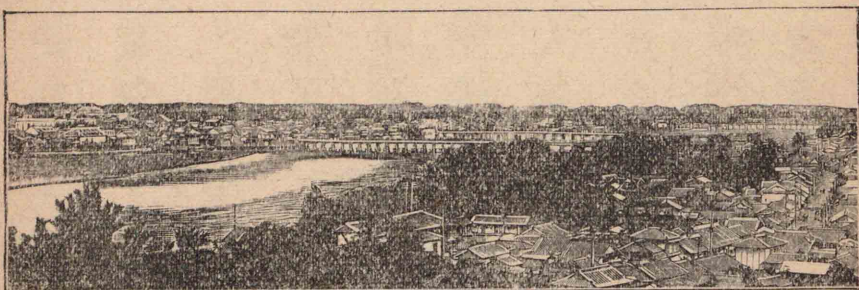
が極めてひんばんである。  
長崎・佐世保の附近からは對岸の大陸に至るいくつもの海底電線がある。中でもウラヂボストックに至るものと上海しやんはいに至るものとは、共に世界電信線の幹線であつて、遠くヨーロッパ洲に通じてゐる。

五 都邑

九州島の海岸の平地は一般に人口が密で都會が多い。中でも北部の工業地區には門司・小倉・八幡・若松等の工業市が連なつてゐる。

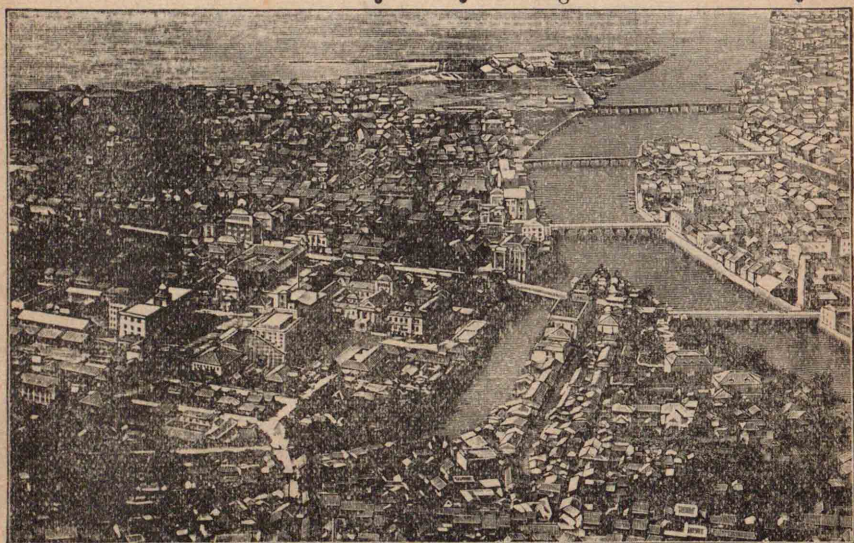
北部にはなほ福岡・佐賀・長崎・久留米、その他の部分

尋地一



宮崎と大淀川

には熊本・鹿兒島・宮崎・大分・別府がある。福岡・佐賀・長崎・熊本・鹿兒島・宮崎・大分は  
いづれも縣廳の所



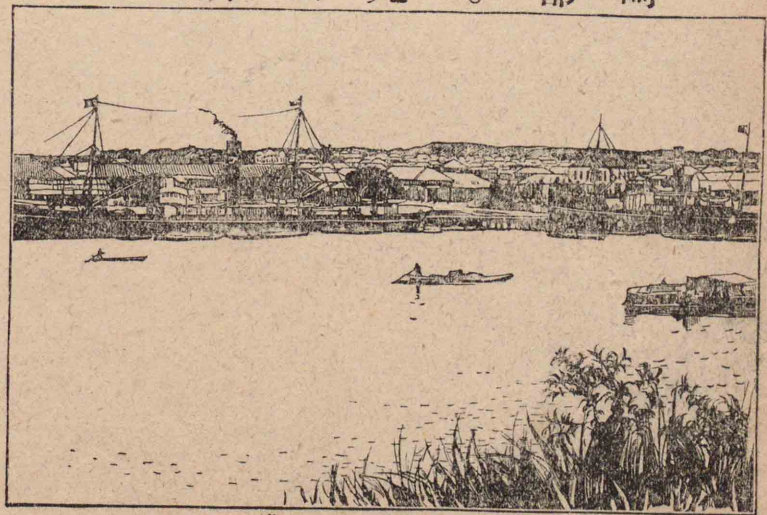
福岡の市街

在地である。

福岡は人口二十三萬、長崎と共に九州地方の二大都會であつて、商業も工業も發達してゐる。又こゝに九州帝國大學がある。長崎は人口二十萬、大きい造船所のある處である。

六 薩南諸島・琉球列島

薩南諸島と琉球列島とは熱帯に近い處にあつて、

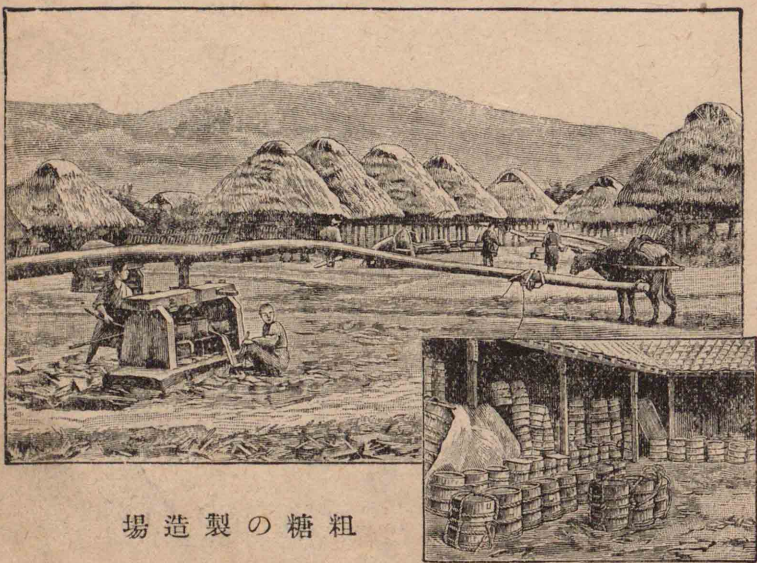


那 霸 港

尋地一

その上、近海に暖流があるので、氣候は甚だ暖かて雨が多い。地味はあまりよくないが、さつまいもやさたらうきびが盛に栽培せられてゐる。粗糖の製造が盛であつて、その産額は内地第一である。なほ豚の飼養も一般に行はれてゐる。

薩南諸島の主な島は大



粗糖の製造場

島で、琉球列島の主な島は沖繩島である。沖繩島はこれ等の島々の中、最もよく開けてゐて、那覇首里の二都會がある。那覇は琉球列島第一の良港で、縣廳の所在地である。

尋常小學地理書卷一終

尋地一

附錄

一 關東地方

府縣名	東京府	神奈川県	千葉県	埼玉縣
管轄區域	武藏國の一部 伊豆七島 小笠原諸島	武藏國の一部 相模國	下總國の大部分 上總國 安房國	武藏國の一部
府縣廳所在地	東京市	横浜市	千葉市	浦和町
府縣名	群馬縣	栃木縣	茨城縣	
管轄區域	上野國	下野國	常陸國 下總國の一部	
府縣廳所在地	前橋市	宇都宮市	水戸市	

二 奥羽地方

附錄

一

府縣名	福島縣	宮城縣	岩手縣
管轄區域	岩代國 磐城國の大部分	陸前國の大部分 磐城國の一部分	陸中國の大部分 陸前國の一部分 陸奥國の一部分
府在縣地廳	福島市	仙台市	盛岡市
府縣名	青森縣	秋田縣	山形縣
管轄區域	陸奥國の大部分	陸中國の一部分 羽後國の大部分	羽前國 羽後國の一部分
府在縣地廳	青森市	秋田市	山形市
靜岡縣	伊豆國の大部分 遠江國	駿河國	
愛知縣	尾張國 三河國	美濃國 飛驒國	
岐阜縣	名古屋市	岐阜市	
長野縣	長野縣	新瀉縣	富山縣
山梨縣	甲斐國	越後國 佐渡國	越中國
甲府市	長野市	新瀉市	富山市

三 中部地方

尋地一

四 近畿地方

石川縣	加賀國 能登國	金澤市	福井縣	越前國 若狹國	福井市
滋賀縣	近江國 山城國	大津市	奈良縣	大和國	奈良市
京都府	丹波國の大部分 丹後國	京都市	和歌山縣	紀伊國の大部分	和歌山市
大阪府	河内國 和泉國	大阪市	三重縣	伊勢國 伊賀國 志摩國 紀伊國の一部分	津市
兵庫縣	攝津國の一部分 丹波國の一部分 但馬國 播磨國 淡路國	神戸市			

五 中國地方

府縣名	管轄區域	府在縣地	府縣名	管轄區域	府在縣地
岡山縣	備前國 美作國 備中國	岡山市	島根縣	出雲國 石見國 隱岐國	松江市
廣島縣	安藝國 備後國	廣島市	鳥取縣	因幡國 伯耆國	鳥取市
山口縣	備前國 備中國 備後國 周防國 長門國	山口市			
六 四國地方					
德島縣	阿波國	德島市	愛媛縣	伊豫國	松山市
香川縣	讚岐國	高松市	高知縣	土佐國	高知市
七 九州地方					
福岡縣	筑前國 筑後國 豐前國の一部分	福岡市	肥前國の一部分		佐賀市
		佐賀縣			

尋地一

尋地一

鹿兒島縣	薩摩國 大隅國	鹿兒島市	肥後國		熊本市
宮崎縣	日向國	宮崎市	豐後國 豐前國の一部分		大分市
長崎縣	肥前國の一部分 壹岐國 對馬國	長崎市	琉球國		那霸市
		沖繩縣			

昭和九年二月五日翻刻印刷  
昭和九年二月廿七日翻刻發行

尋常小學地理書卷一

定價金拾貳錢

に

著作權所有

著作兼  
發行者

文  
部  
省

昭和九年二月六日  
文部省檢査濟

翻刻發行  
兼印刷者

東京市小石川區指ヶ谷町百三十六番地  
東京書籍株式會社  
代表者 石川正作

印刷所

東京市小石川區指ヶ谷町百三十六番地  
東京書籍株式會社工場

發行所

東京市小石川區指ヶ谷町百三十六番地  
東京書籍株式會社

石川縣山梨郡戸河内町  
大字打梨

廣島

廣島縣山縣郡打梨尋常小

尋常小

政

広島大学図書  
2000302726



庫  
34  
726